

文化・教養専門課程 総合学科

学科区分	共通、専門 選択の別	授 業 科 目	第1学年 年間授業 時 数	第2学年 年間授業 時 数	第3学年 年間授業 時 数	授業時間 合 計	授業方法	実務経験の ある教員等 による授業 科目
共通科目	共通	業界概論	60	60	60	180	講義	
選択必修 科目	アニメ プロデュース コース	デッサン	180	120	120	420	演習	○
		色彩設計	30			30	講義	
		作画基礎	120			120	実習	○
		デジタルワーク	60			60	演習	
		背景	60	120	120	300	演習	
		構造作画	60			60	実習	
		アニメ制作	60	120		180	演習	
		映像演出	30			30	演習	
		パースペクティブ	30			30	講義	
		アニメ・コミック概論	30			30	講義	
		デジタル作画	30		120	150	実習	
		デジタルペイント	30			30	実習	
		3DCG制作		120	120	240	演習	
		ゲーム企画		120		120	実習	
		撮影・編集		120		120	実習	
		卒業制作			120	120	演習	
		web制作			120	120	演習	
		特別授業	52	26	26	104	実習	
		業界研究	10	18	24	52	実習	
		イベント制作	20	20	20	60	実習	
		作品展	32	40	44	116	実習	
	総合コミック コース	デッサン	180	120	120	420	演習	○
		色彩設計	30			30	講義	
		デジタル表現	120	120		240	実習	
		作品制作	150	240	120	510	演習	
		コミック表現技法	120			120	実習	○
		DTP	60	120		180	実習	
		シナリオ	60			60	講義	
		色彩構成		60	60	120	演習	
		ビジネスコミック		60		60	演習	
		エフェクトデザイン			60	60	演習	
		ポートフォリオ			120	120	演習	
		プロダクト制作			120	120	演習	
		撮影・編集			120	120	実技	
		特別授業	52	26	26	104	実習	
		業界研究	10	18	24	52	実習	
		イベント制作	20	20	20	60	実習	
		作品展	32	40	44	116	実習	
	総合声優 コース	放送制作	120	120		240	演習	
		声優基礎	60			60	講義	○
		キャリアデザイン	60			60	演習	
		ボーカル	60	60	60	180	実習	
		ダンス	60	60		120	実習	
		アナウンス	120	120	120	360	実習	
		ボイスコントロール	120	120		240	演習	
		演技	120	120		240	演習	○
		舞台制作			120	120	演習	○
		アフレコ		120	120	240	演習	○
		アクション			120	120	演習	
		ネット配信制作			60	60	演習	
		セルフプロデュース			120	120	講義	
		特別授業	52	26	26	104	実習	
		業界研究	10	18	24	52	実習	
		イベント制作	20	20	20	60	実習	
		舞台発表	44	44	28	116	実習	
科目授業時数（アニメプロデュースコース）			894	884	894	2,672		
科目授業時数（総合コミックコース）			894	884	894	2,672		
科目授業時数（総合声優コース）			906	888	878	2,672		
卒業に必要な総授業時数（アニメプロデュースコース）			894	884	894	2,672		
卒業に必要な総授業時数（総合コミックコース）			894	884	894	2,672		
卒業に必要な総授業時数（総合声優コース）			906	888	878	2,672		

シラバス

総合学科

アニメプロデュースコース

授業科目		授業時数
デッサン		180
学年	学科	コース
1	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
山本 まゆみ (美術系大学を卒業後、作品展、個展等を行い現在も作家として活動)		
前 期		
到達目標		
明暗や立体のとらえ方を理解する		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	円筒形 ・鉛筆の削り方、クロッキーの導入 ・鉛筆の持ち方、線などの導入 ・前半→石膏(円筒形導入) ・後半→植木鉢	
2	立方体 ・直線、立方体の導入 ・前半→石膏立方体 ・後半→白立方体、ワイン瓶1	
3	球体 ・前半→石膏球(球体導入) ・後半→バスケットボール 次回持ち物予告	
4	ブロック 軟式テニスボール 立方体と球体の応用	
5	オイルカン(円筒) 軟式テニスボール 円筒形とレタリング	
6	石膏デッサン①-1(クロ強週間) デッサン室1 ミロのビーナスorメヂチor青年ブルータス デッサン室2 アグリッパorラポルトor獅子冠女神	
7	石膏デッサン①-2(クロ強週間) デッサン室1 ミロのビーナスorメヂチor青年ブルータス デッサン室2 アグリッパorラポルトor獅子冠女神	
8	石膏デッサン②-1 ①で描いてない像 顔クロッキー導入(コンテダーマト)	
9	石膏デッサン②-2 ①で描いてない像 顔クロッキー導入(コンテダーマト) スケッチ大会日程予告 夏休みクロッキープリント配布	
10	手二態(構図、空間、疎と密) ・指5本の存在がわかるポーズ!	
11	自画像 胸から上、少し斜めから (次回ボスカラ)	
12	ポスターカラー ベタ塗り導入 前半→色彩「16色面」 後半: 色彩「あまいからい」	
13	着色描写[導入] 前半: ハートランドピン 後半: 赤リンゴ(各自持参)	
14	着衣人物 (座りポーズ) ☆デッサン強化 DAY イス座りポーズ 2人組。交代でモデルをする。 (デッサン強化DAYのため4時間授業)	
15	着衣人物・顔 (立ちポーズ) 午後→顔スケッチ (着色) 午前→他クラス学生ボランティアモデル 午後→顔スケッチ(交代でモデルになる) コンテ、ダーマトグラフ、透明水彩等使用	

授業の方法	
講義・ 演習 実験・実技・実習	
授業概要	
形を捉えるクロッキー力や明暗、立体感などの捉え方を学び、基礎的な画力をつける ものを見る観察力を養う	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
様々なモチーフの描き方を理解する	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	机上デッサン ハートランド瓶、リボン、レンガ モチーフの配置、構図について
2	デッサン・着色 前半 ビール瓶(鉛筆デッサン) 後半 ビール瓶(着色デッサン、透明水彩)
3	石膏デッサン③ ・カッパのビーナスorアポロorギリシャ婦人像 ・アリアスor闘士像orカラカラ帝 (クロッキー強化週間)
4	石膏デッサン③ ・カッパのビーナスorアポロorギリシャ婦人像 ・アリアスor闘士像orカラカラ帝 (クロッキー強化週間)
5	石膏デッサン③ ・カッパのビーナスorアポロorギリシャ婦人像 ・アリアスor闘士像orカラカラ帝 (クロッキー強化週間)
6	机上デッサン【構図の話】 果物or野菜2、ワインビン モチーフの配置、構図について
7	着衣人物 午前 男性座りポーズ(鉛筆) 午後 女性色々ポーズ (コンテ、ダーマト、透明水彩等使用)
8	ヌードクロッキー 5分～40分ポーズ
9	ヌードデッサン(女性座りポーズ) 5分×4ポーズ、クロッキー 20分×14固定ポーズ、鉛筆デッサン
10	想定描写 1m石膏球3個、任意の階段
11	想定描写 1m石膏球3個、任意の階段
12	花(百合=カサブランカ) 注: おしべをとる!
13	着色描写 透明水彩で植物を描く(ユッカの木)
14	特大自画像(進級制作展用) 表情を工夫する(変顔など) 体正面、顔のみ斜め横でもOK 画用紙タテ 鎖骨から上を画面いっぱい描く
15	特大自画像(進級制作展用) 表情を工夫する(変顔など) 体正面、顔のみ斜め横でもOK 画用紙タテ 鎖骨から上を画面いっぱい描く

授業科目		授業時数
デッサン		120
学年	学科	コース
2	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
山本まゆみ		
前 期		
到達目標		
就職に必要な画力を身につける		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	着衣人物スケッチ	交代で全員ポーズ(5～10分) 後半;石膏小
2	石膏デッサン(中、上級用の大型石膏像に挑戦する)	1回目
3	石膏デッサン	2回目
4	石膏デッサン	3回目
5	ヌードデッサン	女性\座りポーズ 学生の様子を見ながら行う
6	石膏デッサン (クロッキー強化週間)	4回目
7	石膏デッサン (クロッキー強化週間)	5回目 ※はやくできた人はコーラ瓶
8	机上モチーフデッサン①	各自の力量にあわせてタオル・ピン・紙風船などを組む 出来た人はコーラ瓶続き
9	机上モチーフデッサン②	2回目
10	机上モチーフデッサン③	3回目
11	机上モチーフデッサン④	4回目
12	机上モチーフデッサン⑤	5回目
13	ヌードデッサン	女性座りポーズ
14	着衣人物デッサン	男性座りポーズ
15	レスラーモデルスケッチ	レスラーモデル(男性)クロッキー&スケッチ

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
1年生で得た基礎的なクロッキー力と観察力をもとに、大型デッサンや応用的な作品作りを目指す。	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
複雑なモチーフを描ける力をつける	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	人物スケッチ スケッチ大会作品完成
2	卒業制作 石膏デッサン、牛頭骨、組モチーフなど各自で選ぶ
3	卒業制作 石膏デッサン、牛頭骨、組モチーフなど各自で選ぶ
4	卒業制作 石膏デッサン、牛頭骨、組モチーフなど各自で選ぶ
5	卒業制作 石膏デッサン、牛頭骨、組モチーフなど各自で選ぶ
6	ヌードデッサン又はスケッチ 学生の様子を見ながら行う
7	卒業制作 石膏デッサン、牛頭骨、組モチーフなど各自で選ぶ
8	卒業制作 石膏デッサン、牛頭骨、組モチーフなど各自で選ぶ
9	卒業制作 石膏デッサン、牛頭骨、組モチーフなど各自で選ぶ
10	想定描写『廃墟』① 廃墟をテーマに白黒で表現 ペンまたは鉛筆
11	想定描写『廃墟』② 廃墟をテーマに白黒で表現 ペンまたは鉛筆
12	着彩 自画像
13	自画像(着彩)又は卒業制作 続き
14	自画像(着彩)又は卒業制作 続き
15	自画像(着彩)又は卒業制作 続き

授業科目		授業時数
デッサン		120
学年	学科	コース
3	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
山本 まゆみ		
前 期		
到達目標		
基礎デッサンの復習と応用への展開		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 前半 人物スケッチ 後半 石膏スケッチ	交代で5～10分モデルになる 小型石膏像を1時間で描く	
2 石膏デッサン	・画用紙大縦(65×50cm) ・中、上級用の大型石膏像に挑戦する	
3 石膏デッサン	・画用紙大縦(65×50cm) ・中、上級用の大型石膏像に挑戦する	
4 石膏デッサン	・画用紙大縦(65×50cm) ・中、上級用の大型石膏像に挑戦する	
5 ヌードデッサン (女性座りポーズ)	5分×4ポーズ クロッキー 20分×5固定ポーズ 鉛筆デッサン	
6 石膏デッサン	・画用紙大縦(65×50cm) ・中、上級用の大型石膏像に挑戦する	
7 石膏デッサン	・画用紙大縦(65×50cm) ・中、上級用の大型石膏像に挑戦する	
8 机上モチーフ (静物)	タオル、鏡、缶、瓶、紙風船など 各自でモチーフを選び配置を決める。	
9 机上モチーフ (静物)	タオル、鏡、缶、瓶、紙風船など 各自でモチーフを選び配置を決める。	
10 机上モチーフ (静物)	タオル、鏡、缶、瓶、紙風船など 各自でモチーフを選び配置を決める。	
11 机上モチーフ (静物)	タオル、鏡、缶、瓶、紙風船など 各自でモチーフを選び配置を決める。	
12 机上モチーフ (静物)	タオル、鏡、缶、瓶、紙風船など 各自でモチーフを選び配置を決める。	
13 ヌードデッサン (女性座りポーズ)	5分×4ポーズ クロッキー 20分×5固定ポーズ 鉛筆デッサン	
14 クロッキー・デッサン	着衣人物(男性座りポーズ)	
15 デッサン	レスラーモデルスケッチ(男性) コンテ、ダーマトグラフ、透明水彩等使用	

授業の方法	
講義・演習 実験・実技・実習	
授業概要	
昨年の復習と苦手克服を行い、より安定したデッサン力を磨く。	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
作品としての完成度	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1 デッサン	前半 人物スケッチ 後半 スケッチ大会作品チェック
2 卒業制作1 (エキサイ展)	石膏像、牛頭骨、組みモチーフ(静物)から 各自で選ぶ
3 卒業制作1 (エキサイ展)	石膏像、牛頭骨、組みモチーフ(静物)から 各自で選ぶ
4 卒業制作1 (エキサイ展)	石膏像、牛頭骨、組みモチーフ(静物)から 各自で選ぶ
5 卒業制作1 (エキサイ展)	石膏像、牛頭骨、組みモチーフ(静物)から 各自で選ぶ
6 ヌードデッサン 又は ヌードスケッチ	デッサン、又はスケッチ、画材などを学生の様子を見ながら決める
7 卒業制作1 (エキサイ展)	石膏像、牛頭骨、組みモチーフ(静物)から 各自で選ぶ
8 卒業制作1 (エキサイ展)	石膏像、牛頭骨、組みモチーフ(静物)から 各自で選ぶ
9 卒業制作1 (エキサイ展)	石膏像、牛頭骨、組みモチーフ(静物)から 各自で選ぶ
10 想定描写	テーマ「廃墟」 鉛筆か黒ペン、又は併用 卒業制作1が完成していない場合は続きを描く
11 想定描写	テーマ「廃墟」 鉛筆か黒ペン、又は併用 卒業制作1が完成していない場合は続きを描く
12 卒業制作2 特大着彩自画像 (エキサイ展)	・画用紙大縦(65×50cm) ・頭部は画用紙縦2/3の大きさ。角度自由 ・顔は透明水彩で描くが、他は自由
13 卒業制作2 特大着彩自画像 (エキサイ展)	・画用紙大縦(65×50cm) ・頭部は画用紙縦2/3の大きさ。角度自由 ・顔は透明水彩で描くが、他は自由
14 卒業制作2 特大着彩自画像 (エキサイ展)	・画用紙大縦(65×50cm) ・頭部は画用紙縦2/3の大きさ。角度自由 ・顔は透明水彩で描くが、他は自由
15 卒業制作2 特大着彩自画像 (エキサイ展)	・画用紙大縦(65×50cm) ・頭部は画用紙縦2/3の大きさ。角度自由 ・顔は透明水彩で描くが、他は自由

授業科目		授業時数
業界概論		60
学年	学科	コース
1	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
和田 伸一		
前 期		
到達目標		
進路として希望する業界の基礎知識の習得		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	ガイダンス 1年間の学生生活や学生規則について	
2	習得する技能について 各授業を履修することの目的や実習内容や卒業生の実績を解説	
3	アニメーション業界について① アニメーション制作工程と職種について	
4	アニメーション業界について② アニメーション業界の解説	
5	アニメーション業界について③ アニメーション業界の解説	
6	アニメーション業界について④ アニメーション業界の解説	
7	アニメーション業界について⑤ アニメーション業界の解説	
8	アニメーション業界について⑥ アニメーション業界の解説	
9	アニメーション業界について⑦ アニメーション業界の解説	
10	著作権について 著作権や作品制作における注意点などを解説	
11	アニメーション業界について⑧ アニメーション制作工程と職種について	
12	アニメーション業界について⑨ アニメーション業界の解説	
13	アニメーション業界について⑩ アニメーション業界の解説	
14	アニメーション業界について⑪ アニメーション業界の解説	
15	アニメーション業界について⑫ アニメーション業界の解説	

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
将来進む進路である業界を知り、業界に進むための基礎知識を身につける	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
将来の進路とする業界を決め、進路決定の為に必要なことを身につける	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	アニメーション業界について⑬ アニメーション制作工程と職種について
2	アニメーション業界について⑭ アニメーション業界の解説
3	自己分析① 進路の決定や就職活動のために自分というものを知る過去の自分
4	自己分析② 進路の決定や就職活動のために自分というものを知る現在の自分
5	自己分析③ 進路の決定や就職活動のために自分というものを知る将来の自分
6	他己分析 他人の目から見た自分を知る
7	自己PRの方法 自己PRの基本的知識を身につける
8	就職活動ガイダンス 就職活動に向けての基礎知識を身につける
9	一般常識対策 就職に必要な一般教養を身につける
10	一般常識対策 就職に必要な一般教養を身につける
11	一般常識対策 就職に必要な一般教養を身につける
12	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備
13	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備
14	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備
15	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備

授業科目		授業時数
業界概論		60
学年	学科	コース
2	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
和田 伸一		
前 期		
到達目標		
希望する進路や職種、企業を決定し就職活動用資料を完成させる		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	ガイダンス	1年間の学生生活についてと心構えなどについて解説
2	業界研究	業界研究の方法
3	業界研究	職種研究
4	業界研究	企業研究
5	ビジネスマナー	Eメール作成のマナー
6	ビジネスマナー	電話のマナー・言葉遣い
7	ビジネスマナー	一般教養1
8	ビジネスマナー	一般教養2
9	ビジネスマナー	一般教養3
10	就職・デビューに向けての資料制作	各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
11	産学協同アニメ制作について	産学協同アニメの企画内容、作業工程とスケジュールの説明
12	産学協同アニメ①	設定制作
13	産学協同アニメ②	ロケハン打ち合わせ
14	産学協同アニメ③	レイアウト、ラフ原画
15	産学協同アニメ④	レイアウト、ラフ原画

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
就職デビューに向けた指導を含めたポートフォリオ制作の授業の補完的な役割	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
社会人として必要な業界知識を身につける	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	産学協同アニメ⑥ 原画、動画
2	産学協同アニメ⑦ カメラワーク、撮影技法の理解&基礎描写力、表現力の向上・カメラワークによる様々な映像効果を理解し、演画的効果や作画上の作画効果を演習課題を通じて学習する
3	産学協同アニメ⑧ 原画、動画
4	産学協同アニメ⑨ 原画、動画
5	産学協同アニメ⑩ 動画
6	産学協同アニメ⑪ 動画
7	産学協同アニメ⑫ 仕上げ
8	産学協同アニメ⑬ 仕上げ
9	産学協同アニメ⑭ 仕上げ
10	産学協同アニメ⑮ 撮影、編集
11	産学協同アニメ⑯ 撮影、編集
12	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備
13	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備
14	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備
15	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備

授業科目		授業時数
業界概論		60
学年	学科	コース
3	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
和田 伸一		
前 期		
到達目標		
希望する進路や職種、企業を決定し就職活動用資料を完成させる		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・ <u>その他</u>		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	ガイダンス	1年間の学生生活についてと心構えなどについて解説
2	業界研究	業界研究の方法
3	業界研究	職種研究
4	業界研究	企業研究
5	ビジネスマナー	Eメール作成のマナー
6	ビジネスマナー	電話のマナー・言葉遣い
7	ビジネスマナー	一般教養1
8	ビジネスマナー	一般教養2
9	ビジネスマナー	一般教養3
10	就職・デビューに向けての資料制作	各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
11	就職・デビューに向けての資料制作	各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
12	就職・デビューに向けての資料制作	各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
13	就職・デビューに向けての資料制作	各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
14	就職・デビューに向けての資料制作	各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
15	就職・デビューに向けての資料制作	各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導

授業の方法	
<u>講義</u> ・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
就職デビューに向けた指導を含めたポートフォリオ制作/作品制作の補完的な役割	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
社会人として必要な業界知識を身につける	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・ <u>その他</u>	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
2	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
3	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
4	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
5	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
6	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
7	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
8	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
9	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
10	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
11	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
12	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備
13	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備
14	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備
15	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備

授業科目		授業時数
色彩設計		30
学年	学科	コース
1	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
山下 恵津子		
前 期		
到達目標		
色彩について、基礎から応用まで幅広い知識と技能を習得し、色彩士検定3級を取得する		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	ガイダンス 色のなりたち①	
2	色のなりたち②	
3	混色	
4	色名	
5	PCCS:色相	
6	PCCS:トーン	
7	色の知覚効果	
8	色の心理効果	
9	色の心理効果	
10	色彩調和①	
11	色彩調和②	
12	色彩調和③	
13	演習、混色対策	
14	理論問題対策	
15	前期試験	

授業の方法		
講義・演習・実験・実技・実習		
授業概要		
色彩士検定3級公式テキストを使用し、色彩の基礎から応用までの幅広い知識と技能を指導する。※前期のみ開講		
使用教材:カラーマスターベーシック・配色カード		
後 期		
到達目標		
評価方法		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

授業科目		授業時数
作画基礎		120
学年	学科	コース
1	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
橋本 純一 (1991年からアニメーターとして活動開始。数多くのテレビ、映画アニメーションの動画、原画、作画監督などのアニメ制作に携わる)		
前 期		
到達目標		
デジタル作画の基本操作と動画における基礎力の習得		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 自己紹介	描画理論の理解 ・一年間の授業の流れの説明、自己紹介	
2 模写①	模写力の習得 ・マス目を使った模写	
3 模写②	模写力の習得 ・マッス(かたまり)を使った模写	
4 自由動画①	自由な発想で動画の面白さを発見する ・スライム(メタモルフォーゼ)	
5 クリナップ①	クリナップの重要性ときまりを学ぶ ・影なし・影あり(以後、毎日3枚のクリナップ提出)	
6 動画基礎①	基本的な中割りの仕方を学ぶ ・動画作法を学ぶ、線割り(拡大・縮小)	
7 タイムシート理解(目パチ・ロバク)	タイムシートの読み方、書き方を学ぶ ・タイムシートの読解、セルワークの理解	
8 タップ割り①	動画の基本テクニックを学ぶ ・タップ割り、セル組み	
9 タップ割り②	〃	
10 歩き①	基本的なアクションの習得 ・横歩き(FIX)	
11 歩き②	〃	
12 歩き③	〃	
13 走り①	基本的なアクションの習得 ・横走り(FIX)	
14 走り②	〃	
15 前期末試験	習得度の確認 ・授業内容の理解度、習得度をテストにて確認する	

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
デジタル作画の基礎を学ぶ アニメーターに必要な動画の基礎知識やテクニックを学ぶと共に作画のスピードアップを目指す	
使用教材:タップ、作画用紙、アニメーションの本、など	
後 期	
到達目標	
動画の基本(歩き・走りなど)	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1 15秒作品制作	クリップスタジオを使って15秒のショートアニメ、またはCMを制作 絵コンテ、キャラクターデザインからすべて各自で行う
2 15秒作品制作	絵コンテ&設定(キャラデ、美術設定)
3 15秒作品制作	絵コンテ&設定(キャラデ、美術設定)
4 15秒作品制作	レイアウト、ラフ原
5 15秒作品制作	レイアウト、ラフ原
6 15秒作品制作	原画
7 15秒作品制作	原画
8 15秒作品制作	動画
9 15秒作品制作	動画
10 15秒作品制作	仕上げ
11 15秒作品制作	仕上げ
12 15秒作品制作	撮影、編集
13 15秒作品制作	撮影、編集
14 後期末テスト	習得度の確認 ・授業内容の理解度、習得度をテストにて確認する
15 デジタル作画まとめ	習得度の確認 ・テストの返却、解説

授業科目		授業時数
デジタルワーク		60
学年	学科	コース
1	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
東谷 由紀		
前 期		
到達目標		
Photoshopの基本操作		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	授業の説明 Photoshopの説明 アンケート 写真の調整 写真の修整	
2	練習イラスト 線の抽出	
3	練習イラスト 着色 基本色 パターン作り	
4	練習イラスト 着色 写真の切り抜き 合成 マスクレイヤー	
5	練習イラスト 文字入れ 文字の変形 レイヤー効果 背景 グラデーション 提出	
6	イラスト模写 線画作成	
7	イラスト模写 線画作成	
8	イラスト模写 着色	
9	イラスト模写 着色 提出	
10	オリジナルイラスト 線画	
11	オリジナルイラスト 線画	
12	オリジナルイラスト 着色	
13	オリジナルイラスト 着色	
14	オリジナルイラスト 着色	
15	オリジナルイラスト 着色 提出	

授業の方法	
講義 ・ 演習 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
業界標準のPhotoshop、Illustratorの基本を学び、作品の制作までを学ぶ。	
使用教材:Photoshop、Illustrator	
後 期	
到達目標	
Illustratorの基本操作	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	授業の説明 Illustratorの説明 バスの練習 トレース ABC トレース花
2	バスでマークを作る 家紋
3	切手を作る バスファインダー
4	イースターエッグ レイヤー効果
5	グラデーションメッシュでトマトを描く
6	トレーディングカードを作る ジャンル、内容は自由だがイラストはオリジナル用紙に下絵を描く
7	トレーディングカード タイトルの作成
8	トレーディングカード 飾り枠の作成
9	トレーディングカード 説明部分の作成 必ず3行以上の文章(内容不問)を配置する。
10	トレーディングカード カードオリジナルイラストを描く 色塗りのみPhotoshop可 線画はイラストレーターのライブペイントで作成する。
11	トレーディングカード カードオリジナルイラストを描く 色塗りのみPhotoshop可
12	トレーディングカード イラスト、文字等の部品のレイアウトをする
13	トレーディングカード 調整 提出
14	名刺を作成 記載は氏名、メールアドレス、HPアドレスのみ
15	作品紹介のパンフレットを作成 A4、2Pくらい

授業科目		授業時数
背景		60
学年	学科	コース
1	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
又木 義隆		
前 期		
到達目標		
背景美術の基礎の習得		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	自己紹介／アニメ背景美術 描画理論の理解 ・アニメーション背景美術の世界観を理解する	
2	アニメ制作工程&美術設定・美術ボード 制作工程と主旨を理解 ・アニメ制作工程を通して美術監督の仕事と役割を学ぶ	
3	背景基礎(基礎トレーニング)① 基礎描写力の向上 ・ベタ、グラデーション、溝引きの表現方法を学ぶ	
4	背景基礎(基礎トレーニング)② 〃	
5	背景基礎(基礎トレーニング)③ 〃	
6	背景基礎(基礎トレーニング)④ 基礎描写力の向上 ・背景基礎描写の再確認と背景画制作工程を実習課題を通して習得する	
7	背景基礎(基礎トレーニング)⑤ 〃	
8	背景基礎実習Ⅰ－① 基礎描写力の向上 ・さまざまな生活舞台の背景画の描写表現方法を習得する	
9	背景基礎実習Ⅰ－② 〃	
10	背景基礎実習Ⅱ(メカニック)① 〃	
11	背景基礎実習Ⅱ(メカニック)② 〃	
12	前期末テスト 習得度の確認 ・授業内容の理解度、習得度をテストにて確認する	
13	背景基礎実習Ⅲ(特殊背景)① 制作意図、主旨に応じた多種多様な特殊背景の描写表現、制作方法を学ぶ ・イメージ背景	
14	背景基礎実習Ⅲ(特殊背景)② 制作意図、主旨に応じた多種多様な特殊背景の描写表現、制作方法を学ぶ ・ハイコン	
15	背景基礎実習Ⅲ(特殊背景)③ 制作意図、主旨に応じた多種多様な特殊背景の描写表現、制作方法を学ぶ ・ハーモニー	

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
背景美術の仕事を理解し、ポスターカラーを使ったアナログ背景の基本的な表現技法を身に付ける。透視図法をふまえた空間表現を学ぶ。	
使用教材:ポスターカラー、各背景画集、デッサン、パース参考書など	
後 期	
到達目標	
アニメ制作における背景作画	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	背景作画実習 ① 基礎作画力&表現力の向上 ・透視図法を踏まえた実践的な作画表現を習得する
2	背景画演習Ⅰ－①(空と雲) カメラワーク、撮影技法の理解&基礎描写力、表現力の向上 ・カメラワークによる様々な映像効果を理解し、演出的効果や作画上の作画効果を演習課題を通して学習する
3	背景画演習Ⅰ－②(空・雲・山・樹木) カメラワーク、撮影技法の理解&基礎描写力、表現力の向上 ・カメラワークによる様々な映像効果を理解し、演出的効果や作画上の作画効果を演習課題を通して学習する
4	背景画演習Ⅰ－③(空・雲・山・樹木) 〃
5	背景作画基礎② 基礎作画力&表現力の向上 ・透視図法を踏まえた実践的な作画表現を習得する
6	背景画演習Ⅱ(デフォルメ)① 基礎描写力の向上&表現力の向上 ・コミカル、メルヘンなどデフォルメの意図や考え方、基礎描写、表現方法を演習課題を通して習得する
7	背景画演習Ⅱ(デフォルメ)② カメラワーク、撮影技法の理解&基礎描写力、表現力の向上 ・カメラワークによる様々な映像効果を理解し、演出的効果や作画上の作画効果を演習課題を通して学習する
8	背景画演習Ⅱ(デフォルメ)③ 〃
9	背景作画基礎③ 基礎作画力&表現力の向上 ・美術設定を模写することで、基本的な自然物の作画表現を習得する。
10	背景画演習Ⅲ－① カメラワーク、撮影技法の理解&基礎描写力、表現力の向上 ・カメラワークによる様々な映像効果を理解し、演出的効果や作画上の作画効果を演習課題を通して学習する
11	背景画演習Ⅲ－② 〃
12	背景作画基礎④ 基礎作画力&表現力の向上 ・美術設定を模写することで、基本的な自然物の作画表現を習得する。
13	後期末テスト 習得度の確認 ・授業内容の理解度、習得度をテストにて確認する
14	背景画演習Ⅳ－① アニメ制作の背景美術の制作
15	背景画演習Ⅳ－② アニメ制作の背景美術の制作

授業科目		授業時数
背景		120
学年	学科	コース
2	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
水池 俊夫		
前 期		
到達目標		
背景作画における応用図力を習得。		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	背景製作手慣らし 課題説明(ゲーム企画について、現時点での方向性わかれば確認) ポートフォリオのチェック背景素材ラフ、アイデア出しをして沢山モチーフを描く(主に、線画+陰影、余裕ある人は軽く着彩)	
2	同上	
3	同上	
4	企画書の内容に合わせて、背景製作 企画内容を確認して、必要となる背景について相談 企画書全体で必要となる背景のラフ、アイデア出し	
5	同上	
6	ラフチェック、描くものを選択して構図など決める	
7	背景1枚目 下書き	
8	同上	
9	下書きできたら、清書、着彩	
10	同上	
11	同上	
12	背景2枚目 背景1枚目のチェック 2枚目の下書き	
13	同上	
14	下書きできたら、清書、着彩	
15	同上	

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
実践的描画力の強化 背景作画における実践的な応用技術を理解し、現場適応力の強化を目指す。	
使用教材:各背景画集、デッサン、パース参考書など	
後 期	
到達目標	
実践的な作画理論・方法を演習を通じて習得。	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	背景2枚目続き 着彩、仕上げ
2	後期の背景内容確認 背景2枚目のチェック 3, 4枚目のラフ、アイデア出し
3	背景3枚目 3枚目の下書き
4	同上 下書きできたら、清書、着彩
5	同上
6	同上
7	同上
8	同上
9	背景4枚目 4枚目の下書き
10	同上 下書きできたら、清書、着彩
11	同上
12	同上
13	同上
14	同上
15	評価、チェック、修正、調整 修正、調整

授業科目		授業時数
背景		120
学年	学科	コース
3	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
水池 俊夫		
前 期		
到達目標		
実践的でより高度な背景作画力を習得。		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価(課題評価・小テスト・その他)		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	自己紹介/背景作画基礎復習 基礎作画力の確認 ・背景作画基礎における授業内容の理解度、習得度を再確認する	
2	風景スケッチ① 応用描写力の向上 ・観察力と空間把握を深め、的確な表現力・描写力を高める	
3	風景スケッチ② 〃	
4	背景作画応用①(レイアウト基礎) 応用作画力の向上 ・レイアウトにおけるフレーム意識やキャラクターと背景との関係など、空間に対する考察力や表現力を実習課題を通して学習する	
5	背景実習 基礎演習Ⅰー① カメラワーク、撮影技法の理解&基礎描写力、表現力の向上 ・カメラワークによる様々な映像効果を理解し、演出的効果や作画上の作画効果を演習課題を通じて学習する	
6	背景実習 基礎演習Ⅰー② 〃	
7	背景実習 基礎演習Ⅰー③ 〃	
8	背景作画応用②(レイアウト実習) 応用作画力の向上 ・レイアウトにおけるフレーム意識やキャラクターと背景との関係など、空間に対する考察力や表現力を実習課題を通して学習する	
9	背景実習 基礎演習Ⅱー① 実践的描画力の強化 ・演習を通して、主旨要素の理解と表現能力を高める	
10	背景実習 基礎演習Ⅱー② 〃	
11	背景実習 基礎演習Ⅱー③ 〃	
12	背景実習 基礎演習Ⅱー④ 〃	
13	前期末テスト(筆記・実技) 習得度の確認 ・授業内容の理解度、習得度をテストにて確認する	
14	背景美術応用演習① 演習課題を通して、描画理論、表現力の向上と個性豊かな美術の能力を高めていく	
15	背景美術応用演習② 〃	

授業の方法		
講義 ・ 演習 実験 ・ 実技 ・ 実習		
授業概要		
現場適応力の強化 アニメーション制作実習を通して、実践的な事項や描画理論・表現方法を理解する。また、自己表現と鑑賞の基盤を養い、現場適応力の強化と感性を一層高めることを目指す。		
使用教材:各背景画集、デッサン、パース参考書など		
後 期		
到達目標		
創造的な世界観の表現と実作業の習得。		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価(課題評価・小テスト・その他)		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	背景実習 卒業制作① 現場適応力の強化 ・実習を通して、制作過程における吟味と創意工夫を理解する	
2	背景実習 卒業制作② 〃	
3	背景実習 卒業制作③ 〃	
4	背景実習 卒業制作④ 〃	
5	背景実習 卒業制作⑤ 〃	
6	背景実習 卒業制作⑥ 〃	
7	背景実習 卒業制作⑦ 〃	
8	背景実習 卒業制作⑧ 〃	
9	背景実習 卒業制作⑨ 〃	
10	背景実習 卒業制作⑩ 〃	
11	背景実習 卒業制作⑪ 〃	
12	背景実習 卒業制作⑫ 〃	
13	背景実習 卒業制作⑬ 〃	
14	背景実習 卒業制作⑭ 〃	
15	背景実習 卒業制作⑮ 〃	

授業科目		授業時数
構造作画		60
学年	学科	コース
1	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
西嶋 信一郎		
前 期		
到達目標		
運動の法則と空間の把握		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	運動の法則① 運動の法則から動きを理解する ・物体の落下の表現から詰めを学ぶ	
2	運動の法則② 運動の法則から動きを理解する ・振り子の運動を法則に則って表現する	
3	人体構造① 人物の骨格や構造の理解 ・人体の頭部の構造と立体を理解する	
4	人体構造② 人物の骨格や構造の理解 ・人体の手の構造と立体を理解する	
5	人体構造③ 人物の骨格や構造の理解 ・人体の全身のバランスと構造を理解する	
6	自然現象① 基本的な自然現象の表現方法の理解 ・旗のなびきから風の表現を学ぶ	
7	自然現象② "	
8	回転運動① 空間認知能力の向上と立体の表現 ・円柱の回転から立体的な動きを表現する	
9	回転運動② 空間認知能力の向上と立体の表現 ・扉が開く動き、回転運動の表現 BG組み	
10	回転運動③ "	
11	振り向き① 基本的なアクションの習得 ・簡単なキャラクターを使った振り向き動作を描く	
12	振り向き② "	
13	振り向き③ 基本的なアクションの習得 ・横顔の口バクから合成動画を学ぶ 複雑なキャラの振り向き	
14	振り向き④ "	
15	前期末試験 習得度の確認 ・授業内容の理解度、習得度をテストにて確認する	

授業の方法		
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習		
授業概要		
作画に必要な知識と描画力を身につける 動画の基本知識の習得と絵描きとして必要な描画力の向上を目指す。※前期のみ開講		
使用教材:タップ、作画用紙、アニメーションの本、やさしい人物画など		
後 期		
到達目標		
評価方法		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

授業科目		授業時数
アニメ制作		60
学年	学科	コース
1	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
西嶋 信一郎		
前 期		
到達目標		
評価方法		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

授業の方法	
講義・ 演習 ・実験・実技・実習	
授業概要	
作画に必要な知識と描画力を身につける 動画の基本知識の習得と絵描きとして必要な描画力の向上を目指す。※後期のみ開講	
使用教材:タップ、作画用紙	
後 期	
到達目標	
アニメーターに必要な基本的な作画の修得と原画の基礎	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・ 課題評価 ・小テスト・ その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1 走り(Follow)①	基本的なアクションの習得 ・横走り(Follow)
2 走り(Follow)②	基本的なアクションの習得 ・横走り(Follow)
3 歩き(斜め)①	基本的なアクションの習得 ・斜め歩き
4 歩き(斜め)①	基本的なアクションの習得 ・斜め歩き
5 走り(正面)①	基本的なアクションの修得 ・正面走り(Follow)
6 走り(正面)②	基本的なアクションの修得 ・正面走り(Follow)
7 馬の歩き	動物の動き ・馬の歩き(なみあし)
8 馬の走り	動物の動き ・馬の歩き(ギャロップ)
9 犬の歩き	動物の動き ・犬の歩き
10 犬の走り	動物の動き ・犬の走り
11 鳥の羽ばたき	動物の動き ・鳥の羽ばたき
12 レイアウト基礎①	レイアウトの基礎知識 パースの復習 課題絵コンテからレイアウトを作画する
13 レイアウト基礎②	レイアウトの基礎知識 パースの復習 課題絵コンテからレイアウトを作画する
14 原画基礎①	原画制作の基礎知識 タイムシート理解 課題絵コンテから原画とタイムシートを作成する
15 原画基礎②	原画制作の基礎知識 タイムシート理解 課題絵コンテから原画とタイムシートを作成する

授業科目		授業時数
アニメ制作		120
学年	学科	コース
2	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
橋本 純一		
前 期		
到達目標		
ポートフォリオ用の作画作品の制作		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	作画基礎復習	歩き ・就職試験に向けた、基本動画の復習
2	作画基礎復習	〃
3	作画基礎復習	走り ・就職試験に向けた、基本動画の復習
4	作画基礎復習	〃
5	作画基礎復習	振り向き ・就職試験に向けた、基本動画の復習
6	作画基礎復習	〃
7	アニメ制作工程 企画・脚本	アニメ制作工程の再確認と「産学協同アニメ」の企画・脚本のアイデアを出す 制作の役割分担
8	脚本・絵コンテ・設定	「産学協同アニメ」の脚本の決定 絵コンテの制作 登場キャラクターの設定
9	卒業制作アニメ作成	〃
10	設定	キャラクター設定&美術設定
11	作打ち&レイアウト	絵コンテの読み合わせ 担当カットの振り分け レイアウト作業
12	レイアウト	ロケハンしたスチル写真にキャラクターの配置をする カットによってはラフ原画まで制作
13	レイアウト	〃
14	レイアウト	〃
15	レイアウト・背景制作・色彩 設計	・レイアウト作業、カットによってはラフ原画まで制作 ・ロケハンで撮影したスチル写真をPhotoshopで加工して背景画を制作 ・キャラクター、小物などの色彩をRETAS!で制作する

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
「産学協同アニメ」の制作を通して、アニメ制作の一連の流れを学び、プロとしての責任感とコミュニケーションの必要性を学ぶ。※後期のみ開講	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
産学共同アニメ作成	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	レイアウト・背景制作・色彩 設計 ・レイアウト作業、カットによってはラフ原画まで制作 ・ロケハンで撮影したスチル写真をPhotoshopで加工して背景画を制作 ・キャラクター、小物などの色彩をRETAS!で制作する
2	レイアウト・背景制作・色彩 設計 〃
3	原画・背景制作・色彩設計 ・原画作業、演技やタイミングを考えて必要な原画とタイムシートの作成 ・ロケハンで撮影したスチル写真をPhotoshopで加工して背景画を制作 ・キャラクター、小物などの色彩をRETAS!で制作する
4	原画・背景制作・色彩設計 〃
5	原画・背景制作・色彩設計 〃
6	原画・背景制作・色彩設計 〃
7	原画・背景制作・色彩設計 〃
8	原画・背景制作・色彩設計 〃
9	原画・背景制作・色彩設計 〃
10	動画・背景制作・色彩設計 ・動画作業、原画時に指示されたタイミング通りに正確に中割を制作 ・ロケハンで撮影したスチル写真をPhotoshopで加工して背景画を制作 ・キャラクター、小物などの色彩をRETAS!で制作する
11	動画・背景制作・色彩設計 〃
12	動画・背景制作・彩色 ・動画作業、原画時に指示されたタイミング通りに正確に中割を制作 ・ロケハンで撮影したスチル写真をPhotoshopで加工して背景画を制作 ・出来上がった動画をスキャンしてRETAS!で彩色する
13	動画・背景制作・彩色 〃
14	彩色・撮影 彩色された動画と背景を組み合わせで撮影、ムービーデータに書き出し
15	撮影・編集 カットごとに書き出されたムービーデータを編集して完成まで

授業科目		授業時数
映像演出		30
学年	学科	コース
1	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
津田 佳也		
前 期		
到達目標		
評価方法		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

授業の方法	
講義・ 演習 ・実験・実技・実習	
授業概要	
脚本を元に絵コンテの見方、書き方を学び、具体的な映像演出を学びます。映像制作の作法や段取り、映像表現のテクニックを学びます。※後期のみ開講	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
映像演出の基礎知識の習得	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・ 課題評価 ・小テスト・ その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1 映像演出基礎	映像作品における決まり事。イマジンナリーラインやカット割りによる演出論。
2 各種カメラワーク①	各種カメラワークの実例と必要素材。絵コンテとタイムシート Follow、PAN、付けPAN、SL
3 各種カメラワーク②	各種カメラワークの実例と必要素材。絵コンテとタイムシート T.U、T.B、マルチ、ゴンドラ、画面動、回転
4 各種カメラワーク③	各種カメラワークの実例と必要素材。絵コンテとタイムシート F.I、F.O、OL、WXP、スーパー、透過光、ハイコン、サブリナ、露出オーバー
5 15秒CM絵コンテ①	15秒CMの絵コンテ制作
6 15秒CM絵コンテ②	15秒CMの絵コンテ制作
7 15秒CM絵コンテ③	15秒CMの絵コンテ制作
8 15秒CM絵コンテ④	15秒CMの絵コンテ制作
9 15秒CM絵コンテ⑤	15秒CMの絵コンテ提出
10 15秒CM制作①	作品プレゼングループ分け
11 15秒CM制作②	作品制作
12 15秒CM制作③	作品制作
13 15秒CM制作④	作品制作
14 15秒CM制作⑤	作品制作
15 15秒CM制作⑥	作品制作

授業科目		授業時数
パースペクティブ		30
学年	学科	コース
1	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
又木 義隆		
前 期		
到達目標		
パースの基礎理論を理解し作品制作に生かすことができる		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	遠近法 EL・HL・VPの解説。ELを軸にした人物の遠近法。	
2	分割線とレタリング 平面図を分割し、パースのついた視点に描き起こす。	
3	一点透視図法① 一点透視図法で方眼立方体の空間を描く。またそこから背景(部屋)や人工物等を描き起こす。	
4	一点透視図法② 部屋の作画①	
5	一点透視図法③ 部屋の作画②	
6	一点透視図法④ 部屋の作画③	
7	二点透視図法① 二点透視図法で、人工物を描き起こす。また、人物をパースに合わせて描き加える。2点透視での部屋の作画課題。	
8	二点透視図法② 階段の作画/襖の作画	
9	二点透視図法③ 教室の作画/扉の作画	
10	二点透視図法④ 同上	
11	三点透視図法① 三点透視図法で、人工物を描き起こす。また人物や自然物もパースに合わせて描き加える。課題: 椅子と座る人物	
12	三点透視図法② 玄関の作画	
13	三点透視図法③ 学校の作画	
14	三点透視図法④ 学校の作画	
15	補足 楕円パース・魚眼パースの課題	

授業の方法		
講義・演習・実験・実技・実習		
授業概要		
遠近法・透視図法を学び、調和のとれた人物・人工物・背景作画の基礎を学ぶ。※前期のみ開講		
使用教材:直定規、三角定規、コンパス、マルチライナー		
後 期		
到達目標		
評価方法		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

授業科目		授業時数
アニメ・コミック概論		30
学年	学科	コース
1	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
浅尾 典彦		
前 期		
到達目標		
マンガ、アニメの歴史から様々な表現手法を学ぶ		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	自己紹介 アニメーションとは ・表現者としての心構え ・アニメーションの概念 ・具体的な表現	
2	アニメーションの発生1 ・物を動かせるという意味 ・アートとしてのアプローチ ・アニメーションの歴史 ・具体的な表現	
3	アニメーションの発生2 ・アニメーションの歴史 ・開発されたセンス ・具体的な表現	
4	テレビアニメーションの発生1 ・アニメーションの歴史 ・技術的な革命 ・具体的な表現	
5	テレビアニメーションの発生2 ・アニメーションの歴史2 ・技術的な革命 ・具体的な表現	
6	企画書 ・企画書の意味 ・企画書の書き方	
7	ストーリーについて ・ストーリー構成の構造 ・具体的な表現	
8	キャラクター1 ・キャラクターの設計の仕方 ・具体的な表現	
9	演出について ・様々な演出方法と効果 ・具体的な表現	
10	アートアニメーション1 ・アートアニメーションの概念 ・具体的な表現	
11	アートアニメーション2 ・アニメーションの歴史 ・具体的な表現	
12	表現のいろいろ ・様々な演出と効果 ・具体的な表現	
13	キャラクター2 ・キャラクターの展開 ・魅力のつけ方 ・具体的な表現	
14	テスト ・企画書作成	
15	構成のポイント ・企画書総評 ・表現者としての心構え	

授業の方法		
講義・演習・実験・実技・実習		
授業概要		
アニメ・コミックの変遷を学んで次世代アニメの表現や可能性を考える。※前期のみ開講		
使用教材:アニメ・特撮・SF・映画メディア読本		
後 期		
到達目標		
評価方法		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

授業科目		授業時数
デジタル作画		30
学年	学科	コース
1	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
又木 義隆		
前 期		
到達目標		
評価方法		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
Photoshopを用いた、アニメ背景作画の実習。※後期のみ開講	
使用教材:Photoshop	
後 期	
到達目標	
各種デジタルツールの使い方を学んで表現力の幅を広げる	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・ 課題評価 ・小テスト・ その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1 背景製作手慣らし	課題説明(ゲーム企画について、現時点での方向性わかれば確認) ポートフォリオのチェック背景素材ラフ、アイデア出しをして沢山モチーフを描く(主に、線画+陰影、余裕ある人は軽く着彩)
2 同上	同上
3 同上	同上
4 企画書の内容に合わせて、背景製作	企画内容を確認して、必要となる背景について相談 企画書全体で必要となる背景のラフ、アイデア出し
5 同上	ラフチェック、描くものを選択して構図など決める
6 背景1枚目	下書き
7 同上	下書きできたら、清書、着彩
8 同上	同上
9 同上	同上
10 同上	同上
11 同上	同上
12 背景2枚目	背景1枚目のチェック 2枚目の下書き
13 同上	下書きできたら、清書、着彩
14 同上	同上
15 同上	着彩、仕上げ

授業科目		授業時数
デジタル作画		120
学年	学科	コース
3	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
又木 義隆		

前 期	
到達目標	
CLIP STUDIOを使った作品の制作と就職作品の制作	

評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価(課題評価・小テスト・その他)	

授業計画	
授業項目	実施内容
1 就職作品制作	就職用ポートフォリオの作成
2 就職作品制作	〃
3 就職作品制作	〃
4 就職作品制作	〃
5 卒業制作アニメ作成Ⅰ	・レイアウト作業 ・美術ボード制作
6 卒業制作アニメ作成Ⅰ	〃
7 卒業制作アニメ作成Ⅰ	・レイアウト、原画作業 ・背景美術制作 ・色彩設計
8 卒業制作アニメ作成Ⅰ	〃
9 卒業制作アニメ作成Ⅰ	〃
10 卒業制作アニメ作成Ⅰ	・レイアウト、原画、動画作業 ・背景美術制作 ・色彩設計
11 卒業制作アニメ作成Ⅰ	〃
12 卒業制作アニメ作成Ⅰ	〃
13 卒業制作アニメ作成Ⅰ	・動画作業 ・背景美術制作 ・ペイント作業 ・撮影作業
14 卒業制作アニメ作成Ⅰ	〃
15 卒業制作アニメ作成Ⅰ	〃

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
デジタル作画を使った実践的な動画作成を学ぶ。就職に向けて、より高度な知識やテクニックを学ぶと共に作画のスピードアップを目指す	
使用教材:CLIP STUDIO	

後 期	
到達目標	
CLIP STUDIOを使ったより高度なテクニックの習得	

評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価(課題評価・小テスト・その他)	

授業計画	
授業項目	実施内容
1 就職作品制作	就職用ポートフォリオの作成
2 就職作品制作	〃
3 就職作品制作	〃
4 卒業制作アニメ作成Ⅱ	・レイアウト作業 ・美術ボード制作
5 卒業制作アニメ作成Ⅱ	〃
6 卒業制作アニメ作成Ⅱ	・レイアウト、原画作業 ・背景美術制作 ・色彩設計
7 卒業制作アニメ作成Ⅱ	〃
8 卒業制作アニメ作成Ⅱ	〃
9 卒業制作アニメ作成Ⅱ	・レイアウト、原画、動画作業 ・背景美術制作 ・色彩設計
10 卒業制作アニメ作成Ⅱ	〃
11 卒業制作アニメ作成Ⅱ	〃
12 卒業制作アニメ作成Ⅱ	・動画作業 ・背景美術制作 ・ペイント作業 ・撮影作業
13 卒業制作アニメ作成Ⅱ	〃
14 卒業制作アニメ作成Ⅱ	〃
15 卒業制作アニメ作成Ⅱ	・ペイント作業 ・撮影作業 ・編集作業

授業科目		授業時数
3DCG制作		120
学年	学科	コース
3	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
伊丹繁幸		
前 期		
到達目標		
企画立案、絵コンテ、カット割り、プリビズ、進捗マネージメントの基本履修。		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	キャラクターデザイン&制作計画 ① 最終課題アニメーション制作企画立案	
2	NURBSとPolygonモデリング 1 最終課題アニメーション制作企画立案	
3	NURBSとPolygonモデリング 2 最終課題アニメーション制作企画立案	
4	マテリアルとテクスチャ 1 シナリオ、絵コンテ、Vコン作成	
5	マテリアルとテクスチャ 2 UVの編集 シナリオ、絵コンテ、Vコン作成	
6	マテリアルとテクスチャ 3 シーン設定とレンダリング シナリオ、絵コンテ、Vコン作成	
7	制作演習 1 アニメーションの基礎1 シナリオ、絵コンテ、Vコン作成	
8	制作演習 2 アニメーションの基礎2 シナリオ、絵コンテ、Vコン作成	
9	制作演習 3 アニメーションの基礎3 本編制作	
10	制作演習 4 本編制作	
11	制作演習 5 本編制作	
12	制作演習 6 本編制作	
13	制作演習 7 本編制作	
14	アニメーション制作のための企画 本編制作	
15	アニメーション制作のための企画 本編制作	

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
企画立案、絵コンテ、カット割り、プリビズ、進捗マネージメントなど作品制作に必要なワークフローの履修。 最終的な制作課題である終了制作を通して3DCGアニメーション技術の総合的な向上を目指す。	
使用教材: Maya, Photoshop, AfterEffects 他	
後 期	
到達目標	
3DCG素材のエフェクト、編集等後処理を総合的に学び、終了制作作品の完成を目指す。	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	マテリアルとテクスチャ 制作キャラクターモデルのマテリアル設定
2	マテリアルとテクスチャ 制作キャラクターモデルのマテリアル設定
3	マテリアルとテクスチャ 制作キャラクターモデルのマテリアル設定
4	スケルトンとリグ FKとIK 制作キャラクターモデルのリグ設定とスキニング
5	スキニング 制作キャラクターモデルのリグ設定とスキニング
6	MotionBuilder キャラクタライズとコントロールリグ FIK(フルボディク) MotionBuilderのフルボディク、リターゲット 最終課題アニメーションの制作
7	MotionBuilder アニメーション MotionBuilderによるアニメーション 最終課題アニメーションの制作
8	MotionBuilder → Maya レンダリング MotionBuilderからMayaへの出力とレンダリング 最終課題アニメーションの制作
9	終了課題制作 最終課題アニメーションの制作
10	終了課題制作 最終課題アニメーションの制作
11	終了課題制作 最終課題アニメーションの制作
12	終了課題制作 最終課題アニメーションの制作
13	終了課題制作 最終課題アニメーションの制作
14	終了課題制作 最終課題アニメーションの制作
15	終了課題制作 最終課題アニメーションの制作

授業科目		授業時数
デジタルペイント		30
学年	学科	コース
1	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
又木 友子		
前 期		
到達目標		
評価方法		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
RETAS!!によるデジタル彩色技術を学ぶことで、アニメ制作の一連の流れと必要な素材の必要性を学ぶ。※後期のみ開講	
使用教材:RETAS STUDIO	
後 期	
到達目標	
RETAS!!によるデジタルペイントの基礎	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・ 課題評価 ・小テスト・ その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1 仕上げ基礎知識	仕上げ基礎説明 ・ペイントマン基礎
2 仕上げ基礎 ペイントマン基礎	ペイントマン基礎の続き
3 ペイントマン基礎	ペイントマン基礎の続き ・基礎課題01
4 カット彩色	カット彩色説明、実習 ・基礎課題01チェック
5 カット彩色	カット彩色実習続き ・基礎課題01チェック
6 色指定読解	色指定読解 ・説明＆実習
7 色指定読解	色指定読解 ・実習続き
8 色指定読解	色指定読解 ・実習続き
9 合成	合成 ・説明＆実習
10 合成	合成 ・実習続き
11 BG組み 合成続き	BG組み ・説明＆実習 合成 ・課題続き
12 合成復習	合成課題続き ・チェック
13 実技テスト	実技テスト実施
14 実技テスト返却 セル組み	実技テスト内容 ・復習＆解説 セル組み ・説明＆実習
15 スキャン	トレースマンの説明 ・各自ペイントマン復習

授業科目		授業時数
3DCG制作		120
学年	学科	コース
2	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
伊丹繁幸		
前 期		
到達目標		
Mayaの基本的な使用方法(モデリング、マテリアル設定)を学ぶ。		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	3D制作の基礎 プリミティブによる家の制作 3D制作の基礎 スケッチ Mayaの基本操作実習(カメラ移動、オブジェクトの移動、回転、拡縮、)	
2	モデリングの基礎 1 ポリゴン” モデリングの基礎 ・椅子とテーブルの制作”・選択・頂点の移動・分割・結合” ・ベベル・ミラー・複製・箱庭の制作	
3	モデリングの基礎 3 ポリゴン” モデリングの基礎 ・箱庭の制作	
4	モデリングの基礎 5 UVの編集、テクスチャー マテリアル、テクスチャの基礎 ・箱庭の制作	
5	マテリアルの基礎 7 UVの編集、テクスチャー マテリアル、テクスチャの基礎 ・箱庭の制作	
6	カメラ、照明、レンダリングの基礎 1 カーブモデリング、レンダリング ・テーブルとイスから構成される部屋の制作	
7	カメラ、照明、レンダリングの基礎 3 カーブモデリング、レンダリング ・テーブルとイスから構成される部屋の制作	
8	カメラ、照明、レンダリングの基礎 5 カーブモデリング、レンダリング ・テーブルとイスから構成される部屋の制作	
9	カメラ、照明、レンダリングの基礎 7 カーブモデリング、レンダリング ・テーブルとイスから構成される部屋の制作	
10	キャラクタの制作 1 ・オリジナルキャラクター(非人型)スケッチ 三面図+パース(スケッチ)制作	
11	キャラクタの制作 2 3Dモデル制作	
12	キャラクタの制作 3 3Dモデル制作	
13	キャラクタの制作 4 3Dモデル制作	
14	キャラクタのアニメーション1 3Dモデル制作、セットアップ	
15	キャラクタのアニメーション3 アニメーション	

授業の方法	
講義 ・ 演習 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
Mayaにおける基礎的なポリゴンモデリング、カーブモデリングを中心に学びます。また、基本的なモデリングの他、マテリアル設定(UV設定)、簡単なキャラクター作成、キャラクターに対してのスケルトン、スキニングなども行い、カメラワークを加えたアニメーション作成を行うことによって、早期に3Dアニメーション制作の概要を体験することを目指しています。	
使用教材: Maya Photoshop AfterEffects 他	
後 期	
到達目標	
Mayaの基本的な使用方法(モデリング、マテリアル設定)に加え、キャラクターアニメーションの基礎を学ぶ。	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	背景3DCG 基礎 1 背景モデリングの基礎 三面図+パース(スケッチ)制作
2	背景3DCG 基礎 3 背景モデリングの基礎 ・制作
3	背景3DCG 基礎 5 背景モデリングの基礎 ・制作
4	背景3DCG 基礎 7 背景モデリングの基礎 ・制作
5	トゥーンマテリアルの設定とレンダリング 1 トゥーンマテリアルの設定によるキャラクター、プロップ、背景の設定
6	トゥーンマテリアルの設定とレンダリング 3 トゥーンマテリアルの設定によるキャラクター、プロップ、背景の設定
7	トゥーンマテリアルの設定とレンダリング 5 トゥーンマテリアルの設定によるキャラクター、プロップ、背景の設定
8	トゥーンマテリアルの設定とレンダリング 7 トゥーンマテリアルの設定によるキャラクター、プロップ、背景の設定
9	終了課題 終了課題アニメーションの企画(各自) ・企画書、絵コンテ、資料等作成
10	終了課題 終了課題アニメーション制作
11	終了課題 終了課題アニメーション制作
12	終了課題 終了課題アニメーション制作
13	終了課題 終了課題アニメーション制作
14	終了課題 終了課題アニメーション制作
15	終了課題 終了課題アニメーション制作

授業科目		授業時数
ゲーム企画		120
学年	学科	コース
2	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
伊丹繁幸		
前 期		
到達目標		
UIデザインの基礎を理解し制作できる		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	3D制作の基礎 3D制作の基礎 スケッチ Mayaの基本操作実習(カメラ移動、オブジェクトの移動、回転、拡大縮小)プリミティブによるテーブル制作	
2	モデリングの基礎 1 ポリゴン モデリングの基礎 ・椅子とテーブルの制作 ・選択・頂点の移動・分割・結合 ・ベベル・ミラー・複製	
3	モデリングの基礎 2 カーブ モデリングの基礎 ・グラスと壺の制作	
4	モデリングの基礎 3 カーブ モデリングの基礎 ・グラスと壺の制作	
5	マテリアルの基礎 1 マテリアル、テクスチャの設定 ・マッピング、UV	
6	マテリアルの基礎 2 マテリアル、テクスチャの設定 ・マッピング、UV	
7	カメラ、照明、レンダリングの基礎 1 レンダリング ・テーブルとイスから構成される部屋の制作	
8	カメラ、照明、レンダリングの基礎 2 レンダリング ・テーブルとイスから構成される部屋の制作	
9	カメラ、照明、レンダリングの基礎 3 レンダリング ・テーブルとイスから構成される部屋の制作	
10	カメラ、照明、レンダリングの基礎 4 レンダリング ・テーブルとイスから構成される部屋の制作	
11	ブロップ(小道具)モデリング 1 ブロップデザイン 三面図+パース(スケッチ)制作	
12	ブロップ(小道具)モデリング 2 制作 ・スカルプト	
13	ブロップ(小道具)モデリング 3 制作 ・ポリゴンの加工、デフォーム	
14	ブロップ(小道具)モデリング 4 制作 ・UVの編集	
15	ブロップ(小道具)モデリング 5 制作 ・ライト、カメラ、レンダリング	

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
WEBデザインのTOPページを、ジャンル別に作成していく。幅広い絵柄で作成するよう意識してもらう。ゲームを意識したUIなども作成していく。前期はUIの概念をWebデザインについてレポート作成。およびWebデザイン。後期はTOPページデザインと簡単なタグで実際にWEBページを作成する。	
使用教材: Maya Photoshop AfterEffects 他	
後 期	
到達目標	
Webゲームの企画書を完成させる	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	キャラクタモデリング 1 ・オリジナルキャラクター(非人型)スケッチ 三面図+パース(スケッチ)制作
2	キャラクタモデリング 2 キャラクタモデリング
3	キャラクタモデリング 3 キャラクタモデリング
4	キャラクタモデリング 4 キャラクタモデリング ・UV展開の基礎
5	キャラクタモデリング 5 キャラクタモデリング ・リギングの基礎
6	アニメーション 終了課題アニメーションの企画(各自) ・企画書、絵コンテ、資料等作成
7	アニメーション 終了課題アニメーションの企画 ・企画書、絵コンテ、資料等作成 確認
8	Mayaのアニメーション基礎 1 終了課題アニメーション制作
9	Mayaのアニメーション基礎 2 終了課題アニメーション制作
10	Mayaのアニメーション基礎 3 終了課題アニメーション制作
11	Mayaのアニメーション基礎 4 終了課題アニメーション制作
12	Mayaのアニメーション基礎 5 終了課題アニメーション制作
13	終了課題アニメーション制作 レンダリングと編集
14	終了課題アニメーション制作 レンダリングと編集
15	提出と総評 前期制作課題の提出

授業科目		授業時数
撮影・編集		120
学年	学科	コース
2	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
又木 友子		
前 期		
到達目標		
色彩設計からカット彩色まで		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 色彩設計	ネットワークの説明 PC起動について 色彩設計説明(プリント有) 実習	
2 色彩設計	前回の続き ・色指定表の作成 ・補足説明	
3 色彩設計	前回の続き ・色指定表が完成したら提出し、小物の色を決める ・できた人は自分の決めた色でカット彩色	
4 色変え	色変え説明 色彩設計続き	
5 色彩設計 色変え	色彩設計と色変えの続き できた人はカットデータのペイント	
6 色彩設計 色変え	〃	
7 色変え	色変え作業の続き できた人はカットデータのペイント	
8 色変え	〃	
9 色トレース	色トレースを多く含んだ課題のペイント	
10 卒業制作 色彩設計	卒業制作のキャラクターの色決めを行う	
11 卒業制作 色彩設計	〃	
12 色トレース 合成復習	色トレースを多く含んだ課題のペイントの続き テストに向けて合成の復習	
13 前期末テスト	ペイントマンの実技テスト	
14 色トレース 自由彩色	色トレース課題の続き 色トレースが終わった人は自由彩色を行う	
15 色トレース 自由彩色 メカ	色トレース課題の続き 自由彩色の続き メカ課題の続き	

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
仕上げの現場で行われている作業を幅広く学び、卒業制作で実践する	
使用教材:After Effects、Premiere	
後 期	
到達目標	
卒業制作の仕上げ全般	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1 卒業制作 課題・色トレース ・自由彩色 ・メカ	卒業制作の作業を各自行う 卒業制作の作業が手空きの学生は課題の続きを行う
2 卒業制作 Photoshop作品制作 課題・色トレース ・自由彩色	卒業制作の作業を各自行う Photoshopでの作品制作の作り方を学ぶ 各自、自分の必要な作業を行う
3 卒業制作 Photoshop作品制作 課題・色トレース ・自由彩色	卒制、フォトショ、課題のいずれか、各自必要な作業を行う
4 卒業制作	卒制の作業を行う
5 卒業制作	〃
6 卒業制作	〃
7 卒業制作	〃
8 卒業制作	〃
9 卒業制作	〃
10 卒業制作	〃
11 卒業制作	〃
12 卒業制作	〃
13 卒業制作	〃
14 卒業制作	〃
15 卒業制作	〃

授業科目		授業時数
卒業制作		120
学年	学科	コース
3	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
西嶋 信一郎		
前 期		
到達目標		
作品の目的を明確にしてプリプロダクションを行う		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目		実施内容
1	卒業制作準備Ⅰ	短編アニメ作成に向けた準備 ・企画会議 ・絵コンテ制作
2	卒業制作準備Ⅰ	短編アニメ作成に向けた準備 ・絵コンテ制作 ・キャラクターデザイン ・美術設定制作
3	卒業制作準備Ⅰ	短編アニメ作成に向けた準備 ・絵コンテ作成、修正 ・美術設定制作 ・キャラクター選定等
4	卒業制作準備Ⅰ	短編アニメ作成に向けた準備 ・作画打ち合わせ(担当カットの振り分け等) ・美術設定制作
5	卒業制作アニメ作成Ⅰ	・レイアウト作業 ・美術ボード制作
6	卒業制作アニメ作成Ⅰ	〃
7	卒業制作アニメ作成Ⅰ	・レイアウト、原画作業 ・背景美術制作 ・色彩設計
8	卒業制作アニメ作成Ⅰ	〃
9	卒業制作アニメ作成Ⅰ	〃
10	卒業制作アニメ作成Ⅰ	・レイアウト、原画、動画作業 ・背景美術制作 ・色彩設計
11	卒業制作アニメ作成Ⅰ	〃
12	卒業制作アニメ作成Ⅰ	〃
13	卒業制作アニメ作成Ⅰ	・動画作業 ・背景美術制作 ・ペイント作業 ・撮影作業
14	卒業制作アニメ作成Ⅰ	〃
15	卒業制作アニメ作成Ⅰ	〃

授業の方法		
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習		
授業概要		
オリジナル短編アニメの制作とプレゼンテーション能力を養う		
使用教材：		
後 期		
到達目標		
作品の目的を明確にして作品として表現すること		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	卒業制作準備Ⅱ	短編アニメ作成に向けた準備 ・企画会議 ・絵コンテ制作
2	卒業制作準備Ⅱ	短編アニメ作成に向けた準備 ・絵コンテ制作 ・キャラクターデザイン ・美術設定制作
3	卒業制作準備Ⅱ	短編アニメ作成に向けた準備 ・作画打ち合わせ(担当カットの振り分け等) ・美術設定制作
4	卒業制作アニメ作成Ⅱ	・レイアウト作業 ・美術ボード制作
5	卒業制作アニメ作成Ⅱ	〃
6	卒業制作アニメ作成Ⅱ	・レイアウト、原画作業 ・背景美術制作 ・色彩設計
7	卒業制作アニメ作成Ⅱ	〃
8	卒業制作アニメ作成Ⅱ	〃
9	卒業制作アニメ作成Ⅱ	・レイアウト、原画、動画作業 ・背景美術制作 ・色彩設計
10	卒業制作アニメ作成Ⅱ	〃
11	卒業制作アニメ作成Ⅱ	〃
12	卒業制作アニメ作成Ⅱ	・動画作業 ・背景美術制作 ・ペイント作業 ・撮影作業
13	卒業制作アニメ作成Ⅱ	〃
14	卒業制作アニメ作成Ⅱ	〃
15	卒業制作アニメ作成Ⅱ	・ペイント作業 ・撮影作業 ・編集作業

授業科目		授業時数
web制作		120
学年	学科	コース
3	総合学科	アニメプロデュースコース
担当講師(プロフィール)		
津田 佳也		
前 期		
到達目標		
After EffectsとPremiereの基本操作とエフェクト表現		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	卒業制作企画 卒業制作企画会議(企画書プレゼン)	
2	After Effects① After Effectsソフトの操作方法	
3	After Effects② 課題カットの撮影	
4	卒業制作絵コンテ① 卒業制作絵コンテ作成①	
5	卒業制作絵コンテ② 卒業制作絵コンテ作成②	
6	Premiere① Premiereソフトの操作方法	
7	Premiere② Premiereソフトでオープニングロゴを制作	
8	Premiere③ Premiereソフトで効果音、音楽編集	
9	映像編集① 課題映像の制作編集①	
10	映像編集② 課題映像の制作編集②	
11	映像編集③ 課題映像の制作編集③	
12	映像編集④ 課題映像の制作編集④	
13	映像編集⑤ 課題映像の制作編集⑤	
14	映像編集⑥ 課題映像の制作編集⑥(作品完成:提出)	
15	映像編集⑦ 課題映像の制作編集⑦(完成作品上映会)	

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
After EffectsやPremiereの操作を学び、映像表現の幅を広げる	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
卒業制作の撮影実習と編集	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	卒業制作作業① 卒業制作作業1(作画)
2	卒業制作作業② 卒業制作作業2(作画)
3	卒業制作作業③ 卒業制作作業3(作画)
4	卒業制作作業④ 卒業制作作業4(作画)
5	卒業制作作業⑤ 卒業制作作業5(作画)
6	卒業制作作業⑥ 卒業制作作業6(ペイント)
7	卒業制作作業⑦ 卒業制作作業7(ペイント)
8	卒業制作作業⑧ 卒業制作作業8(ペイント・撮影)
9	卒業制作作業⑨ 卒業制作作業9(ペイント・撮影)
10	卒業制作作業⑩ 卒業制作作業10(ペイント・撮影)
11	卒業制作作業⑪ 卒業制作作業11(ペイント・撮影・編集)
12	卒業制作作業⑫ 卒業制作作業12(ペイント・撮影・編集)
13	卒業制作作業⑬ 卒業制作作業13(ペイント・撮影・編集)
14	卒業制作作業⑭ 卒業制作作業14(ペイント・撮影・編集)
15	卒業制作作業⑮ 卒業制作作業15(作品完成0号試写)

シラバス

総合学科

総合コミックコース

授業科目		授業時数
デッサン		180
学年	学科	コース
1	総合	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
古田道恵 (美術系大学を卒業後、作品展、個展等を行い現在も作家として活動)		
前 期		
到達目標		
明暗や立体のとらえ方を理解する		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	基礎デッサン	円筒形(前半 石膏 後半 植木鉢) 鉛筆の削り方 クロッキー
2	基礎デッサン	立方体(前半 白立方体 後半 立方体・ワイン瓶2)
3	基礎デッサン	球体 (前半 石膏球 後半 バスケットボール)
4	デッサン	ブロック・軟式テニスボール
5	デッサン	オイル缶・紙風船
6	石膏デッサン① クロッキー強化週間	石膏デッサン ミロのビーナスorメデチ or青年ブルータス ・アグリッパorラボルト or獅子冠女神
7	石膏デッサン① クロッキー強化週間	石膏デッサン ミロのビーナスorメデチ or青年ブルータス ・アグリッパorラボルト or獅子冠女神
8	石膏デッサン②クロッキー強化週間	石膏デッサン② ① で描いてない像 顔クロッキー導入(コンテダーマト)
9	石膏デッサン② クロッキー強化週間	石膏デッサン② ① で描いてない像 顔クロッキー導入(コンテダーマト)
10	デッサン	手二態 (構図、空間、疎と密) ・指5本の存在がわかるポーズ！
11	デッサン	自画像
12	色彩構成	16色面(色彩構成)後半→『あまい・からい』
13	色彩構成	着彩描写 [導入] 前半 : ハートランドピン 後半 : 赤リング(各自持参)
14	デッサン(人物)	着衣人物デッサン(座りポーズ) 2人交代でポーズ
15	着彩 スケッチ キャラ変	着衣人物(女性立ちポーズ) 顔スケッチ

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
形を捉えるクロッキー力や明暗、立体感などの捉え方を学び、基礎的な画力をつける ものを見る観察力を養う。	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
様々なモチーフの描き方を理解する	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	デッサン ハートランド瓶、リボン、レンガ
2	デッサン・着彩 前半 ビール瓶(デッサン) 後半 ビール瓶(着彩)
3	石膏デッサン③ 石膏デッサン③ ・カッパのビーナスorアポロor ギリシャ婦人像 ・アリアスor闘士像orカラカラ帝
4	石膏デッサン③ 石膏デッサン③ ・カッパのビーナスorアポロor ギリシャ婦人像 ・アリアスor闘士像orカラカラ帝
5	石膏デッサン③ 石膏デッサン③ ・カッパのビーナスorアポロor ギリシャ婦人像 ・アリアスor闘士像orカラカラ帝
6	果物or野菜2個 果物or野菜2個
7	着衣人物 午前→男性座りポーズ(鉛筆デッサン)午後→女性色々ポーズ(スケッチ) (コンテ、ダーマトグラフ、透明水彩等使用)
8	ヌードクロッキー ヌードクロッキー
9	ヌードデッサン (女性座りポーズ) ヌードデッサン (女性座りポーズ)
10	想定描写 想定描写 1m石膏球・任意の階段
11	想定描写 想定描写 1m石膏球・任意の階段
12	デッサン 花(百合の花)
13	着彩 着彩描写 ユッカ または ゴムの木
14	デッサン 特大自画像①
15	デッサン 特大自画像②

授業科目		授業時数
デッサン		120
学年	学科	コース
2	総合	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
古田道恵		
前 期		
到達目標		
就職やデビューに必要な画力を身につける		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	着衣人物スケッチ	交代で全員ポーズ(5～10分) 後半;石膏小
2	石膏デッサン①	1回目
3	石膏デッサン①	2回目
4	石膏デッサン①	3回目
5	ヌードデッサン	女性ノ座りポーズ
6	キャラ変	描いた人物クロッキーをキャラクターに変身させる。
7	机上デッサン①	牛頭骨又は剥製
8	机上デッサン①	2回目
9	机上デッサン①	3回目
10	机上デッサン②	タオル、ビール缶、瓶、紙風船 など各自でモチーフを組む
11	机上デッサン②	タオル、ビール缶、瓶、紙風船 など各自でモチーフを組む
12	人物デッサン	2人組、交代でモデル
13	ヌードデッサン	女性モデル(座りポーズ)
14	着衣人物デッサン	男性座りポーズ
15	レスラーモデルスケッチ	レスラーモデル(男性)クロッキー&スケッチ

授業の方法		
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習		
授業概要		
1年生で得た基礎的なクロッキー力と観察力をもとに、大型デッサンや応用的な作品作りを目指す。		
使用教材:		
後 期		
到達目標		
複雑なモチーフを描ける力をつける		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	室内パーススケッチ	学校内の場所をパースの方法を使って描く
2	石膏デッサン②	1回目
3	石膏デッサン②	2回目
4	石膏デッサン②	3回目
5	人物デッサン	ヌードデッサン又はスケッチ(女性座り)
6	想定描写『廃墟』	廃墟をテーマに白黒で表現 ペンまたは鉛筆
7	想定描写『廃墟』	廃墟を描く②
8	想定描写『廃墟』	廃墟を描く③
9	色彩構成	色彩「3態」
10	色彩構成	色彩「3態」
11	予備日	
12	特大自然像1	エキサイ展用特大自然像作成
13	特大自然像2	エキサイ展用特大自然像作成
14	特大自然像3	エキサイ展用特大自然像作成
15	特大自然像4	エキサイ展用特大自然像作成

授業科目		授業時数
デッサン		120
学年	学科	コース
3	総合	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
古田道恵		
前 期		
到達目標		
基礎デッサンの復習と応用への展開		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 クロッキー・デッサン	人物クロッキー・動物の剥製クロッキー・鳥の剥製デッサン	
2 クロッキー・デッサン	・中、上級用の大型石膏像	
3 クロッキー・デッサン	石膏デッサン2	
4 クロッキー・デッサン	石膏デッサン3	
5 クロッキー・デッサン	ヌードデッサン(女性座り)	
6 キャラ変	描いた人物、動物クロッキーをキャラクターに変身させる。	
7 人物クロッキー 動物クロッキー からのキャラ変	描いた人物、動物クロッキーをキャラクターに変身させる。	
8 人物クロッキー 動物クロッキー からのキャラ変	描いた人物、動物クロッキーをキャラクターに変身させる。	
9 想定描写	見上げる構図 見下げる構図	
10 パース	パースを使って室内スケッチ①	
11 パース	パースを使って室内スケッチ②	
12 クロッキー・デッサン	人物デッサン 2人組になり、交代でモデルになる	
13 クロッキー・デッサン	ヌード・水着スケッチ(女性)	
14 クロッキー・デッサン	着衣人物(男性座りポーズ)	
15 デッサン	レスラーモデルスケッチ(男性)	

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
応用デッサン	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
作品としての完成度	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1 室内パーススケッチ	学校内の場所をパースの方法を使って描く
2 組みモチーフ	・画用紙大縦（6 5 × 5 0 cm）・大型モチーフを描く
3	
4	
5 ヌードデッサン	各学生やクラスの様子を見ながら内容（デッサン又はスケッチ、画材など）を決める
6 食べ物	食べ物を描く
7 イメージデッサンを描く」（商店街）	「街 3年間の集大成として大作を時間をかけて描く。エキサイ展に展示する。
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

授業科目		授業時数
業界概論		60
学年	学科	コース
1	総合	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
鈴木 祐		
前 期		
到達目標		
進路として希望する業界の基礎知識の習得		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	ガイダンス 1年間の学生生活やクラス内の取り決めの説明	
2	習得する技能について 各授業を履修することの目的や実習内容や卒業生の実績を解説	
3	漫画の基礎知識① ストーリーの構造	
4	漫画の基礎知識② ネームについて①	
5	漫画の基礎知識③ ネームについて②	
6	漫画の基礎知識④ プロの現場の実際 漫画家になるまでの道程	
7	漫画の基礎知識⑤ キャラクターについて①	
8	漫画の基礎知識⑤ キャラクターについて②	
9	著作権について 著作権や作品制作における注意点などを解説	
10	漫画の基礎知識⑥ アイデアの発想法について	
11	漫画の基礎知識⑦ ジャンルについて	
12	漫画の基礎知識⑥ 冒頭の描き方について1	
13	漫画の基礎知識⑥ 冒頭の描き方について2	
14	漫画の基礎知識⑥ 冒頭の描き方について3	
15	漫画の基礎知識⑥ 冒頭の描き方について4	

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
将来進む進路である業界を知り、業界に進むための基礎知識を身につける	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
漫画(クリエイティブ)業界に進むために必要な知識を身につける。	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	漫画の基礎知識⑦ 読者、市場を知ることの重要性についての解説
2	漫画の基礎知識⑧ テーマや共感についての解説
3	自己分析① 進路の決定や就職活動のために自分というものを知る過去の自分
4	自己分析② 進路の決定や就職活動のために自分というものを知る現在の自分
5	自己分析③ 進路の決定や就職活動のために自分というものを知る将来の自分
6	他己分析 他人の目から見た自分を知る
7	自己PRの方法 自己PRの基本的知識を身につける
8	就職活動ガイダンス 就職活動に向けての基礎知識を身につける
9	一般常識対策 就職に必要な一般教養を身につける
10	一般常識対策 就職に必要な一般教養を身につける
11	一般常識対策 就職に必要な一般教養を身につける
12	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備
13	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備
14	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備
15	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備

授業科目		授業時数
業界概論		60
学年	学科	コース
2	総合	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
勝田 佑紀		
前 期		
到達目標		
希望する進路や職種、企業を決定し就職活動用資料を完成させる		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	ガイダンス	1年間の学生生活についてと心構えなどについて解説
2	業界研究	業界研究の方法
3	業界研究	編集者とは
4	業界研究	漫画業界の現在
5	ビジネスマナー	Eメール作成のマナー
6	ビジネスマナー	電話のマナー・言葉遣い
7	ビジネスマナー	一般教養1
8	ビジネスマナー	一般教養2
9	ビジネスマナー	一般教養3
10	デビューに向けての資料制作	持ち込み用作品の添削指導
11	デビューに向けての資料制作	持ち込み用作品の添削指導
12	デビューに向けての資料制作	持ち込み用作品の添削指導
13	デビューに向けての資料制作	持ち込み用作品の添削指導
14	デビューに向けての資料制作	持ち込み用作品の添削指導
15	デビューに向けての資料制作	持ち込み用作品の添削指導

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
デビューに向けた指導を含めた作品制作の補完的役割	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
社会人として必要な業界知識を身につける	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	デビューに向けての資料制作 持ち込み用作品の添削指導
2	デビューに向けての資料制作 持ち込み用作品の添削指導
3	デビューに向けての資料制作 持ち込み用作品の添削指導
4	デビューに向けての資料制作 持ち込み用作品の添削指導
5	デビューに向けての資料制作 持ち込み用作品の添削指導
6	デビューに向けての資料制作 持ち込み用作品の添削指導
7	デビューに向けての資料制作 持ち込み用作品の添削指導
8	デビューに向けての資料制作 持ち込み用作品の添削指導
9	デビューに向けての資料制作 持ち込み用作品の添削指導
10	デビューに向けての資料制作 持ち込み用作品の添削指導
11	デビューに向けての資料制作 持ち込み用作品の添削指導
12	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備
13	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備
14	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備
15	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備

授業科目		授業時数
業界概論		60
学年	学科	コース
3	総合	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
勝田 佑紀		
前 期		
到達目標		
希望する進路や職種、企業を決定し就職活動用資料を完成させる		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	ガイダンス 1年間の学生生活についてと心構えなどについて解説	
2	業界研究 業界研究の方法	
3	業界研究 職種研究	
4	業界研究 企業研究	
5	ビジネスマナー Eメール作成のマナー	
6	ビジネスマナー 電話のマナー・言葉遣い	
7	ビジネスマナー 一般教養1	
8	ビジネスマナー 一般教養2	
9	ビジネスマナー 一般教養3	
10	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導	
11	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導	
12	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導	
13	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導	
14	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導	
15	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導	

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
就職デビューに向けた指導を含めたポートフォリオ制作/作品制作の補完的な役割	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
社会人として必要な業界知識を身につける	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
2	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
3	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
4	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
5	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
6	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
7	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
8	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
9	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
10	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
11	就職・デビューに向けての資料制作 各自の進路の沿った履歴書・ポートフォリオの添削指導
12	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備
13	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備
14	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備
15	進級卒業作品展に向けて 進級卒業作品展に向けての展示企画からその準備

授業科目		授業時数
色彩設計		30
学年	学科	コース
1	総合	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
山下 恵津子		
前 期		
到達目標		
色彩について、基礎から応用まで幅広い知識と技能を習得し、色彩士検定3級を取得する		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 ガイダンス 第1章:色のなりたち 1-1色を感じる経路 1-2光 1-3物体の色 1-4色を見るための光源	ガイダンス(色彩設計とは? 色彩士検定とは?)色を見るための3つの要素(光源、物体、目)を学ぶ。 色の正体、メカニズム(可視光線とスペクトル)について理解する。	
2 第1章:色のなりたち 1-5色の分類 1-6目の構造と視細胞	目の構造を、カメラのしくみと対応させながら学ぶ。 2種類の視細胞について、その違いと働きを知る。	
3 第2章:混色 2-1混色と等色 2-2三原色 2-3加法混色 2-4減法混色 2-5色材の混色	混色のしくみと、身の回りへの応用を知る。 混色の三原色を理解し、実践に役立てる。	
4 第3章:色の表示方法 3-1表示方法の分類 3-2色名による表示	前回までの学習範囲を対象に、過去問題に触れさせ、習熟度を把握する。 多様な色の表示方法を学び、色の伝達や記録に役立つ知識を身につける。 特に、色の名前を幅広く学ぶ。	
5 第3章:色の表示方法 3-3 PCCS	配色調和のためのカラーシステム PCCS を学ぶ。PCCSのなりたち、表示方法などシステムの特徴を理解する。 色を規則正しく整理し、活用するための力を養う。	
6 第3章:色の表示方法 PCCSの復習 3-4 マンセルシステム カラー演習	国際的に使用されているマンセルシステムを学ぶ。PCCSとマンセルシステムとの共通点、相違点を理解する。 カラーカードを使用し、色の三属性の理解を深める。	
7 第4章:色の知覚的效果 4-1色の相互作用 4-2色の伝達効果 4-3他の感覚に及ぼす	色の見えが、絶対的なものでなく、相対的なものであることを理解する。 対比や同化を知り、実践で活用する力をつける。色の見えやすさ、感情効果を、色の三属性に基づいて学ぶ。	
8 第5章:色の心理的效果 5-1色の感情効果 5-2色のイメージ 5-3色の意味的作用・連想 5-4色の象徴性 5-5色の慣習	色相やトーンごとの、色のイメージを体感とともに理解する。 色の連想や象徴を学び、色を用いた創作活動の表現力を高める。	
9 第6章:色彩調和 6-1配色と色彩調和 6-2色彩調和の原理 6-3形式 6-4基本的な考え方 6-5色相を基準にした配色 6-6トーンを基準にした配色	カラーコーディネートの理論を学ぶ。色相をもとに、目的に応じたカラーコーディネートを行う力を身につける。 トーンをもとに、目的に応じたカラーコーディネートを行う力を身につける。	
10 第6章:色彩調和 6-7基本的な配色技法 6-8慣習的な配色技法	様々な配色技法を学び、柔軟に効果的な配色の提案を行う能力を磨く。	
11 第6章:色彩調和 6-9秩序の原理による 配色の形式 6-10配色とイメージ 配色復習	カラーコーディネートを感覚的に感性だけで行わず、理論的に行うために必要な知識を習得する。カラーカードを使用し、復習を行いながら、実践力を養う。	
12 総復習 検定:演習問題対策 検定:混色問題 (色円板)の解き方	これまでの学習を振り返り、苦手箇所を洗い出し補強する。検定の色円板を用いた混色問題への対策として、実際に色円板を使用させ、体感で理解させる。	
13 復休み課題 説明復習	1ヶ月以上の休職ののち、色彩士検定が控えているため、資格取得へのモチベーションが下がらぬよう、配慮したい。	
14 総復習混色問題(絵の具)の解き方混色問題	色彩学の幅広い知識を記憶・定着させるため、テキスト全体のポイントをまとめてい	
15 前期試験 解説 色彩士検定3級の 直前対策	得意な箇所と不得意な箇所を自覚させる。 全体的なフォローを行う。	

授業の方法		
講義・演習・実験・実技・実習		
授業概要		
色彩士検定3級公式テキストを使用し、色彩の基礎から応用までの幅広い知識と技能を指導する。※前期のみ開講		
テキスト:色彩士検定3級対応 公式テキスト、カラーカード158b		
後 期		
到達目標		
評価方法		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

授業科目		授業時数
デジタル表現		120
学年	学科	コース
1	総合	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
五島 勇樹		
前 期		
到達目標		
Photoshopの基礎を理解する		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	photoshopの基本	授業の諸注意、基本ツールの説明、レイヤーの説明、自己紹介画像の制作
2	photoshopの基本	レイヤー効果の説明、自己紹介画像の制作続き
3	人物写真と背景写真の合成写真	写真合成、持参の線画をスキャナで取り込む、解像度の説明
4	人物写真と背景写真の合成写真	写真合成、線画を着色
5	人物イラストの模写	自動選択ツールで効率的な塗り方を学ぶ、各自持参の漫画の表紙を模写
6	人物イラストの模写	各自持参の漫画の表紙を模写続き
7	人物イラストの模写	各自持参の漫画の表紙を模写続き
8	動物イラストの模写	ブラシの種類について学ぶ、動物写真を用意して模写
9	動物イラストの模写	動物写真を用意して模写続き
10	動物イラストの模写	動物写真を用意して模写続き
11	メカイラストの模写	金属の光沢の出し方を学ぶ、車やバイクなどの乗り物の写真を模写
12	メカイラストの模写	車やバイクなどの乗り物の写真を模写続き
13	メカイラストの模写	車やバイクなどの乗り物の写真を模写続き
14	アナログ線画抽出オリジナルイラスト	前期の内容を活かして一枚オリジナルイラストを制作
15	アナログ線画抽出オリジナルイラスト	オリジナルイラストを制作続き

授業の方法		
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習		
授業概要		
photoshop、illustrator、コミックススタジオ等のデジタルツールの基本を学び、デジタルで作品を作れるようにする。		
使用教材:		
後 期		
到達目標		
Illustrator、CLIPSTUDIOの基礎を理解する		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・ 課題評価 ・小テスト・ その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	名刺の作成	illustratorの基本操作について、名刺の枠組みを作る、名刺デザインを考える
2	名刺の作成	名刺の表裏を完成させる
3	展示用作品制作	花と緑、植物などをテーマにオリジナルイラストを描く
4	展示用作品制作	花と緑、植物などをテーマにオリジナルイラストを描く
5	展示準備	イラストの印刷、名刺の印刷などの準備を行い、自分の作品を展示する
6	写真参考オリジナルイラスト	普段描かないシチュエーションの人物写真を用意し、イラスト化する
7	写真参考オリジナルイラスト	イラスト化の続き
8	写真参考オリジナルイラスト	イラスト化の続き
9	カードゲームイラスト	クラスでひとつテーマを決めて、それに合わせて各自キャラ作り
10	カードゲームイラスト	各自担当してカードをデザインする
11	カードゲームイラスト	カードデザインの続き
12	キャラクター集合イラスト(3キャラ以上)	集合イラスト用のキャラクター設定と構図を考えて提出
13	キャラクター集合イラスト(3キャラ以上)	集合イラスト用の線画を描く
14	キャラクター集合イラスト(3キャラ以上)	イラストを着色
15	キャラクター集合イラスト(3キャラ以上)	イラストを着色完成させる

授業科目		授業時数
デジタル表現		120
学年	学科	コース
2	総合	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
寺嶋 徹		
前 期		
到達目標		
UIデザインの基礎を理解し制作できる		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	企画	自分の就職したい職種にあわせたwebデザインを想定し、コンテンツを計画する。1
2	企画	自分の就職したい職種にあわせたwebデザインを想定し、コンテンツを計画する。2
3	企画に即した作品制作	UI作成1
4	企画に即した作品制作	UI作成2
5	企画に即した作品制作	UI作成3
6	企画に即した作品制作	コンテンツ作成1
7	企画に即した作品制作	実際にWebページを作成していく
8	企画に即した作品制作	デザイン
9	企画に即した作品制作	デザイン
10	企画に即した作品制作	デザイン
11	企画に即した作品制作	デザイン
12	企画に即した作品制作	デザイン
13	ゲーム作品企画	デザイン 早く完成した人は次のテーマをしていきます。ひとつで完成度を上げるもよし、広くつくるもよし。
14	企画に即した作品制作	デザイン 完成
15	企画に即した作品制作	ゲーム画面を意識したデザインののためのゲームを作成する

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
WEBデザインのTOPページを、ジャンル別に作成していく。幅広い絵柄で作成するよう意識してもらう。ゲームを意識したUIなども作成していく。前期はUIの概念をWebデザインについてレポート作成。およびWebデザイン。後期はTOPページデザインと簡単なタグで実際にWEBページを作成する。	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
Webゲームの企画書を完成させる	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	Webゲーム企画書制作 webゲームを意識したデザイン企画書の提出。
2	Webゲーム企画書制作 キャラクタ作成
3	Webゲーム企画書制作 キャラクタ作成
4	Webゲーム企画書制作 ボタン作成
5	Webゲーム企画書制作 ボタン作成
6	Webゲーム企画書制作 タイトルロゴ作成
7	Webゲーム企画書制作 タイトルロゴ作成
8	Webゲーム企画書制作 Web化
9	Webゲーム企画書制作 Web化
10	Webゲーム企画書制作 福岡ゲーム大賞に出せるようにレイアウトする。
11	Webゲーム企画書制作 福岡ゲーム大賞に出せるようにレイアウトする。
12	Webページ制作 アニメーションエフェクトで作成したものを作ったwebページに、はめ込む。
13	Webページ制作 アニメーションエフェクトで作成したものを作ったwebページに、はめ込む。
14	Webページ制作 完成度をあげる
15	Webページ制作 完成度をあげる。web化

授業科目		授業時数
作品制作		150
学年	学科	コース
1	総合	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
岡田幸男・光橋信宏		
前 期		
到達目標		
漫画の描き方の基本を身につける		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	漫画制作の基礎 模写:漫画の1Pを模写(トーンはなし) 描き順指導	
2	漫画制作の基礎 下絵OK～ペン入れ	
3	漫画制作の基礎 ペン入れ～消しゴム～ベタ～ホワイト (次週提出)	
4	漫画制作の基礎 コマ穴埋め:一部分ご除かれた漫画を 自分で考えて埋める(全3種、鉛筆描き)	
5	漫画制作の基礎 コマ穴埋め:続き、完成、提出	
6	漫画制作の基礎 エピソード作り:サイコロを振って出た目の題でエピソードを数 本作り、内1つを2P見開きネームにする(鉛筆描き)	
7	漫画制作の基礎 映画のワンシーンを漫画に:指定の映画の印象に残ったシー ンを2P見開き漫画にする。ネーム2～3本作成して選ぶ。	
8	漫画制作の基礎 ネーム決定～下絵	
9	漫画制作の基礎 下絵～ペン入れ	
10	漫画制作の基礎 ペン入れ～完成 (次週提出)	
11	8P作品制作 8Pネーム2本:テーマを指定。プロット	
12	8P作品制作 ネーム1本目完成	
13	8P作品制作 ネーム2本目完成 どちらか良い方を5人の先生に評価もらう	
14	8P作品制作 16P投稿作プロットチェック	
15	8P作品制作 プロット～ネーム作成	

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
前期は漫画を描く手順を掴む。エピソード作り・見せ方・ストーリー構築を短いページ数を何本もこなしてコツを覚える。後期は16ページの漫画の完成を目指す	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
持ち込み・投稿用の作品を完成させる。	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	16P作品制作 16P作品続き ネームチェック、直し
2	16P作品制作 ネームチェック、直し
3	16P作品制作 ネームチェック、直し
4	16P作品制作 ネームチェック、直し
5	16P作品制作 (学園祭前)ネーム完成、下絵
6	16P作品制作 下絵
7	16P作品制作 下絵
8	16P作品制作 下絵
9	16P作品制作 下絵
10	16P作品制作 下絵～ペン入れ
11	16P作品制作 下絵～ペン入れ (冬休み中に進める)
12	16P作品制作 ペン入れ～仕上げ
13	16P作品制作 ペン入れ～仕上げ
14	16P作品制作 ペン入れ～仕上げ(後期試験週) 原稿を提出、評価
15	16P作品制作 加筆修正、原寸コピーを提出

授業科目		授業時数
作品制作A		120
学年	学科	コース
2	総合	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
東谷 由紀		
前 期		
到達目標		
進路希望先に即したポートフォリオの基本的な完成		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 授業説明 ポートフォリオ説明	ポートフォリオ企画書・提出 個人スケジュール設定 就活先データ収集・まとめ	
2	ポートフォリオ企画決定 作品作成 チェック	
3	作品作成 チェック	
4	作品作成 チェック	
5	作品作成 チェック	
6	作品作成 チェック	
7	作品作成 チェック	
8	作品作成 チェック	
9	作品作成 チェック	
10	作品作成 チェック	
11	作品作成 チェック	
12	作品作成 チェック	
13	作品作成 チェック	
14	作品作成 チェック	
15	ポートフォリオ完成 試験課題提出	

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
就職、デビューに必要なポートフォリオの基礎知識と制作実技 各学生の進路に即したポートフォリオ制作指導	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
就職活動に即したポートフォリオを改善と卒業展に向けた作品展示物の完成	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1 ポートフォリオ制作 卒業制作企画	ポートフォリオの追加・修正・再編集(企業ごと) チェック 卒業制作展の企画
2 ポートフォリオ制作 卒業制作準備	ポートフォリオの追加・修正・再編集(企業ごと) チェック 卒業制作展の企画書提出
3 ポートフォリオ制作 卒業制作準備	ポートフォリオの追加・修正・再編集(企業ごと) チェック 卒業制作展準備作業
4 ポートフォリオ制作 卒業制作準備	ポートフォリオの追加・修正・再編集(企業ごと) チェック 卒業制作展準備作業
5 ポートフォリオ制作 卒業制作準備	ポートフォリオの追加・修正・再編集(企業ごと) チェック 卒業制作展準備作業
6 ポートフォリオ制作 卒業制作準備	ポートフォリオの追加・修正・再編集(企業ごと) チェック 卒業制作展準備作業
7 ポートフォリオ制作 卒業制作準備	ポートフォリオの追加・修正・再編集(企業ごと) チェック 卒業制作展準備作業
8 ポートフォリオ制作 卒業制作準備	ポートフォリオの追加・修正・再編集(企業ごと) チェック 卒業制作展準備作業
9 ポートフォリオ制作 卒業制作準備	ポートフォリオの追加・修正・再編集(企業ごと) チェック 卒業制作展準備作業
10 ポートフォリオ制作 卒業制作準備	ポートフォリオの追加・修正・再編集(企業ごと) チェック 卒業制作展準備作業
11 ポートフォリオ制作 卒業制作準備	ポートフォリオの追加・修正・再編集(企業ごと) チェック 卒業制作展準備作業
12 ポートフォリオ制作 卒業制作準備	ポートフォリオの追加・修正・再編集(企業ごと) チェック 卒業制作展準備作業
13 ポートフォリオ制作 卒業制作準備	ポートフォリオ完成 試験課題提出 卒業制作展準備作業
14 ポートフォリオ制作 卒業制作準備	ポートフォリオ完成 追試(再提出) 卒業制作展準備作業
15 ポートフォリオ制作 卒業制作準備	ポートフォリオ 合評等 卒業制作展準備作業

授業科目		授業時数
作品制作B		120
学年	学科	コース
2	総合	五島 勇樹
担当講師(プロフィール)		
有満 明美		
前 期		
到達目標		
ゲーム背景の描き方の基礎を理解しポートフォリオに反映させる		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	背景製作手慣らし 課題説明(ゲーム企画について、現時点での方向性わかれば確認) ポートフォリオのチェック背景素材ラフ、アイデア出しをして沢山モチーフを描く(主に、線画+陰影、余裕ある人は軽く着彩)	
2	同上	
3	同上	
4	企画書の内容に合わせて、背景製作 企画内容を確認して、必要となる背景について相談 企画書全体で必要となる背景のラフ、アイデア出し	
5	同上	
6	ラフチェック、描くものを選択して構図など決める	
7	背景1枚目 下書き	
8	同上	
9	下書きできたら、清書、着彩	
10	同上	
11	同上	
12	背景2枚目 背景1枚目のチェック 2枚目の下書き	
13	同上	
14	下書きできたら、清書、着彩	
15	同上	
16	同上	
17	同上	
18	同上	
19	同上	
20	同上	
21	同上	
22	同上	
23	同上	
24	同上	
25	同上	
26	同上	
27	同上	
28	同上	
29	同上	
30	同上	
31	同上	
32	同上	
33	同上	
34	同上	
35	同上	
36	同上	
37	同上	
38	同上	
39	同上	
40	同上	
41	同上	
42	同上	
43	同上	
44	同上	
45	同上	
46	同上	
47	同上	
48	同上	
49	同上	
50	同上	
51	同上	
52	同上	
53	同上	
54	同上	
55	同上	
56	同上	
57	同上	
58	同上	
59	同上	
60	同上	
61	同上	
62	同上	
63	同上	
64	同上	
65	同上	
66	同上	
67	同上	
68	同上	
69	同上	
70	同上	
71	同上	
72	同上	
73	同上	
74	同上	
75	同上	
76	同上	
77	同上	
78	同上	
79	同上	
80	同上	
81	同上	
82	同上	
83	同上	
84	同上	
85	同上	
86	同上	
87	同上	
88	同上	
89	同上	
90	同上	
91	同上	
92	同上	
93	同上	
94	同上	
95	同上	
96	同上	
97	同上	
98	同上	
99	同上	
100	同上	

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
ゲーム企画書を元に、ゲーム画面を意識した背景イラスト制作をしています。	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
複雑なゲーム背景を完成させる	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	背景2枚目続き 着彩、仕上げ
2	後期の背景内容確認 背景2枚目のチェック 3, 4枚目のラフ、アイデア出し
3	背景3枚目 3枚目の下書き
4	同上 下書きできたら、清書、着彩
5	同上
6	同上
7	同上
8	同上
9	背景4枚目 4枚目の下書き
10	同上 下書きできたら、清書、着彩
11	同上
12	同上
13	同上
14	同上
15	評価、チェック、修正、調整 修正、調整

授業科目		授業時数
作品制作		120
学年	学科	コース
3	総合	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
岡田幸男・光橋信宏		
前 期		
到達目標		
持ち込み・投稿用作品を1作完成させる		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 持ち込み・投稿用作品制作1	プロット作成、ネームの作成、1年の続きチェック	
2 持ち込み・投稿用作品制作1	プロット作成、ネームの作成、30分課題	
3 持ち込み・投稿用作品制作1	プロット作成、ネームの作成、30分課題	
4 持ち込み・投稿用作品制作1	プロット作成、ネームの作成、30分課題	
5 持ち込み・投稿用作品制作1	プロット作成、ネームの作成、30分課題	
6 持ち込み・投稿用作品制作1	プロット作成、ネームの作成、30分課題	
7 持ち込み・投稿用作品制作1	下描き	
8 持ち込み・投稿用作品制作1	下描き	
9 持ち込み・投稿用作品制作1	下描き・ペン入れ	
10 持ち込み・投稿用作品制作1	下描き・ペン入れ	
11 持ち込み・投稿用作品制作1	下描き・ペン入れ	
12 持ち込み・投稿用作品制作1	下描き・ペン入れ	
13 持ち込み・投稿用作品制作1	下描き・ペン入れ・仕上げ	
14 持ち込み・投稿用作品制作1	下描き・ペン入れ・仕上げ	
15 持ち込み・投稿用作品制作1	下描き・ペン入れ・仕上げ	

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
持ち込みをして、担当付きになることを目的としたマンガ制作。プロット、ネーム、下書き、ペン入れ、仕上げのチェック、年間2本の漫画を完成を目指す	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
持ち込み・投稿用作品を1作完成させる	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1 持ち込み・投稿用作品制作2	プロット作成、ネームの作成30分課題
2 持ち込み・投稿用作品制作2	プロット作成、ネームの作成30分課題
3 持ち込み・投稿用作品制作2	プロット作成、ネームの作成30分課題
4 持ち込み・投稿用作品制作2	プロット作成、ネームの作成30分課題
5 持ち込み・投稿用作品制作2	下描き
6 持ち込み・投稿用作品制作2	下描き
7 持ち込み・投稿用作品制作2	下描き・ペン入れ・仕上げ
8 持ち込み・投稿用作品制作2	下描き・ペン入れ・仕上げ
9 持ち込み・投稿用作品制作2	下描き・ペン入れ・仕上げ
10 持ち込み・投稿用作品制作2	下描き・ペン入れ・仕上げ
11 持ち込み・投稿用作品制作2	下描き・ペン入れ・仕上げ
12 持ち込み・投稿用作品制作2	下描き・ペン入れ・仕上げ
13 持ち込み・投稿用作品制作2	下描き・ペン入れ・仕上げ
14 持ち込み・投稿用作品制作2	下描き・ペン入れ・仕上げ
15 持ち込み・投稿用作品制作2	下描き・ペン入れ・仕上げ

授業科目		授業時数
コミック表現技法		120
学年	学科	コース
1	総合	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
松村 陽子 (連載マンガ、コミック本出版などの経験から自身書き下ろしの漫画の書き方本「マンガの上達レッスン」出版などの経歴があり、ストーリーマンガを中心に幅広く活躍)		
前 期		
到達目標		
ペンテクニックの基本と漫画制作に必要な作画技能を身につける		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	基本の描き方	原稿用紙・各ペン先の使い方
2	効果線①	フラッシュ・ベタフラッシュ・イナズマフラッシュ
3	効果線②	ウニフラッシュ・ベタウニフラッシュ
4	効果線③	カケアミ・ナワアミ
5	特殊技法	血しぶき・バッティング・スパッタリング・スブラッシュ
6	人物描写①基本の顔編	人物の基本的な顔の描き方。オリジナルキャラクターで
7	人物描写②基本の全身編	人物の基本的な全身の描き方。オリジナルキャラクターで
8	筆の技法・髪を描き方	髪を描き方。ツインテール・坊主頭・ツヤベタの塗り方など
9	トーン表現①	スクリーントーンの使い方。基本の切る・貼る
10	トーン表現②	スクリーントーンの使い方。基本の削る・ぼかす
11	トーン表現③	スクリーントーンで、雲・森を表現する
12	雲形定規①	基本編。定規の使い方
13	雲形定規② 夏休み前	応用編。ティーカップ・イス・建物・車の写真のアウトラインをトレース
14	背景描写・人工物編① 夏休み明け	影切り(グラデーションを利かせる)。鉛筆のみ
15	背景描写・人工物編②	四色(黒・白・薄いグレー・濃いグレー)の4つの色に分ける)。鉛筆のみ

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 実習	
授業概要	
漫画の作画に必要なテクニックの基礎を、ひと通り学ぶ。	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
漫画に必要なキャラクターの描き方の基礎を身につける	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1 アオリ顔 秋休み明け	ヤセ型・筋肉質型・肥満型の3種の体型を描き分ける
2 アオリ全身	アオリのついた顔を描く。練習用紙からトレース
3 フカン顔	フカンのついた顔を描く。練習用紙からトレース
4 フカン全身	フカンのついた全身を描く。練習用紙からトレース
5 年齢別描き分け	赤ちゃん・幼児・少年期・青年期・中年期・老人の描き分け
6 体型別描き分け	ヤセ型・筋肉質型・脂肪型の3種類を描く
7 手・足の描き方	特に、手先・足先・脚線を重視して描く
8 物と大きさ	人体との大きさや形をつかみ、描く
9 背景自然①	影切り(グラデーションを利かせる)。鉛筆のみ
10 背景自然②	四色(黒・白・薄いグレー・濃いグレーの4つの色に分ける)。鉛筆のみ
11 背景自然③ 冬休み前	前半…単色(黒・白のみ)。鉛筆のみ。 後半…漫画風な背景にする。ペン入れ
12 動き人物 冬休み明け	歩く・走る・スポーツをするなど、普段良く目にする動作を描く
13 服のシワ	服のシワの、特によく発生する部分のシワの形について勉強する
14 着物	現代着物・江戸時代の着物の描き方の違いなど
15 重なり合った人物 終了	ラブシーン・モブシーンなど、複数の人間が重なった時の描き方 簡単なパースの描き方。

授業科目		授業時数
DTP		60
学年	学科	コース
1	総合	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
山崎 美樹		
前 期		
到達目標		
Illustratorの操作方法の基礎を身につける		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	基本ツールの理解 イラストレーターにおける基本的なツールを体験する(選択・図形・ペン・重ね順など)	
2	基本ツールを使用してイラストを作成 基本ツールを使用し、さらに文字ツール、拡大縮小、回転、作業時のコツなどを習得する	
3	名刺を作成 文字ツールへの理解(Q数・行間・行揃え・組み方向)、フォントの選択について学ぶ	
4	名刺9枚綴りを作成① 文字ツールへの理解(Q数・行間・行揃え・組み方向)、フォントの選択について、作業時のレイヤー切り替えについて学ぶ	
5	名刺9枚綴りを作成② 文字ツールへの理解(Q数・行間・行揃え・組み方向)、フォントの選択について、作業時のレイヤー切り替えについて学ぶ	
6	ペンツール強化① ペンツールで自在に曲線を描けるよう練習	
7	ペンツール強化② ペンツールで自在に曲線を描けるよう練習	
8	お祝いカード作成① フォトショップにて画像の編集(キリヌキと統合・色変換・ファイル保存)し、イラストレーター上に配置、お祝いの文言とを組み合わせ、デザインする	
9	お祝いカード作成② フォトショップにて画像の編集(キリヌキと統合・色変換・ファイル保存)し、イラストレーター上に配置、お祝いの文言とを組み合わせ、デザインする。ハガキサイズ、縦横2案作成する	
10	OPEN告知ハガキ作成 テキストファイル原稿から文字を起こす、画像と組み合わせデザインする	
11	地図作成 アピアランスで線の設定を学ぶ	
12	ポートフォリオ① ここまで習得した、文字・図形・ペン等ツールを使用し、デザインフォーマットを作成する	
13	ポートフォリオ② フォーマット作成(中面・制作ソフトアイコン・カテゴリ扉・カテゴリアイコン・表紙・もくじ&プロフィール・裏表紙・表3)	
14	ポートフォリオ③ フォーマット作成(中面・制作ソフトアイコン・カテゴリ扉・カテゴリアイコン・表紙・もくじ&プロフィール・裏表紙・表3)	
15	ポートフォリオ④ フォーマット作成(中面・制作ソフトアイコン・カテゴリ扉・カテゴリアイコン・表紙・もくじ&プロフィール・裏表紙・表3)	

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
AdobeIllustratorにおける各ツールを理解し、イラストやDTPなど様々な目的に合わせ、作品を仕上げる。イラストレータ上で使用する画像はAdobePhotoshopを使用する。	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
DTPの基礎的に理論を理解する	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	ポートフォリオ⑥ フォーマット作成(中面・制作ソフトアイコン・カテゴリ扉・カテゴリアイコン・表紙・もくじ&プロフィール・裏表紙・表3)
2	ポートフォリオ⑦ フォーマット作成(中面・制作ソフトアイコン・カテゴリ扉・カテゴリアイコン・表紙・もくじ&プロフィール・裏表紙・表3)
3	ポートフォリオ⑧ フォーマット作成(中面・制作ソフトアイコン・カテゴリ扉・カテゴリアイコン・表紙・もくじ&プロフィール・裏表紙・表3)
4	ポートフォリオ⑨ フォーマット作成(中面・制作ソフトアイコン・カテゴリ扉・カテゴリアイコン・表紙・もくじ&プロフィール・裏表紙・表3)
5	ポートフォリオ⑩ フォーマット作成(中面・制作ソフトアイコン・カテゴリ扉・カテゴリアイコン・表紙・もくじ&プロフィール・裏表紙・表3)
6	ポートフォリオ⑪ フォーマット作成(中面・制作ソフトアイコン・カテゴリ扉・カテゴリアイコン・表紙・もくじ&プロフィール・裏表紙・表3)
7	フライヤー作成① 自身で台紙の準備(ガイドライン・トンボ・レイヤー)、テキストファイルから文字起こし、画像と組み合わせデザイン。現地案内地図も作成する
8	フライヤー作成② 自身で台紙の準備(ガイドライン・トンボ・レイヤー)、テキストファイルから文字起こし、画像と組み合わせデザイン。現地案内地図も作成する
9	フライヤー作成③ 自身で台紙の準備(ガイドライン・トンボ・レイヤー)、テキストファイルから文字起こし、画像と組み合わせデザイン。現地案内地図も作成する
10	デザインの運動① カフェの店名ロゴ、OPEN告知DM、ショップカード、コースター、チラシへデザイン展開する。
11	デザインの運動② カフェの店名ロゴ、OPEN告知DM、ショップカード、コースター、チラシへデザイン展開する。
12	デザインの運動③ カフェの店名ロゴ、OPEN告知DM、ショップカード、コースター、チラシへデザイン展開する。
13	デザインの運動④ カフェの店名ロゴ、OPEN告知DM、ショップカード、コースター、チラシへデザイン展開する。
14	デザインの運動⑤ カフェの店名ロゴ、OPEN告知DM、ショップカード、コースター、チラシへデザイン展開する。
15	デザインの運動⑥ カフェの店名ロゴ、OPEN告知DM、ショップカード、コースター、チラシへデザイン展開する。

授業科目		授業時数
DTP		120
学年	学科	コース
2	総合	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
山崎 美樹		
前 期		
到達目標		
業界に進むために必要なデザイン技能を身につける		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	ロゴデザイン① フォントを加工してロゴをデザインする。(アウトライン化・ペンツール・アンカーポイント切替・パスの平均&連結など)まずは企業ロゴを模倣、手法を学ぶ。	
2	ロゴデザイン② 手法を活かして自身でロゴをデザインする。文字のふちどりについて、アビאלランスを復習。	
3	アイコン作成① レイアウトベースとなる分割フォーマットを移動パレットを使用して作成。図形・ペンを使用してイラストアイコンを作成する。	
4	アイコン作成② レイアウトベースとなる分割フォーマットを移動パレットを使用して作成。図形・ペンを使用してイラストアイコンを作成する。	
5	アイコン作成③ レイアウトベースとなる分割フォーマットを移動パレットを使用して作成。図形・ペンを使用してイラストアイコンを作成する。	
6	デザインの運動① DM、フライヤー、カード&名刺など、複数に渡る媒体のデザインを運動させる。	
7	デザインの運動② DM、フライヤー、カード&名刺など、複数に渡る媒体のデザインを運動させる。	
8	デザインの運動③ DM、フライヤー、カード&名刺など、複数に渡る媒体のデザインを運動させる。	
9	デザインの運動④ DM、フライヤー、カード&名刺など、複数に渡る媒体のデザインを運動させる。	
10	作品① ポートフォリオ用作品制作	
11	作品② ポートフォリオ用作品制作	
12	作品③ ポートフォリオ用作品制作	
13	作品④ ポートフォリオ用作品制作	
14	ポートフォリオチェック① 1年生時に作成したポートフォリオ、編集の見直しなど	
15	ポートフォリオチェック② 1年生時に作成したポートフォリオ、編集の見直しなど	

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
AdobeIllustratorにおける各ツールを理解し、イラストやDTPなど様々な目的に合わせ、作品を仕上げる。イラストレータ上で使用する画像はAdobePhotoshopを使用する。	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
複雑なデザインを整理し作品を完成させる技能を身につける	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	ジャケットデザイン① パッケージ、ジャケット、盤面のデザイン。
2	ジャケットデザイン② パッケージ、ジャケット、盤面のデザイン。
3	キリヌキ画像を使用したフリーレイアウト① キリヌキ画像を使用し、動きのあるレイアウトに。
4	キリヌキ画像を使用したフリーレイアウト② キリヌキ画像を使用し、動きのあるレイアウトに。
5	キリヌキ画像を使用したフリーレイアウト③ キリヌキ画像を使用し、動きのあるレイアウトに。
6	スポット紹介誌面① まず1スポットのフォーマットを作成し、移動パレットで8分割レイアウトに。マップを作成し、イラストを配置。誌面構成を考える。
7	スポット紹介誌面② まず1スポットのフォーマットを作成し、移動パレットで分割レイアウトに。マップを作成し、イラストを配置。誌面構成を考える。
8	スポット紹介誌面③ まず1スポットのフォーマットを作成し、移動パレットで分割レイアウトに。マップを作成し、イラストを配置。誌面構成を考える。
9	スポット紹介誌面④ まず1スポットのフォーマットを作成し、移動パレットで分割レイアウトに。マップを作成し、イラストを配置。誌面構成を考える。
10	卒展ポスター① ポスターを制作。題字など原稿を元にレイアウトを考える。
11	卒展ポスター② ポスターを制作。題字など原稿を元にレイアウトを考える。
12	卒展ポスター③ ポスターを制作。題字など原稿を元にレイアウトを考える。
13	卒展ポスター④ ポスターを制作。題字など原稿を元にレイアウトを考える。
14	カレンダー① 自身のイラストでカレンダー制作。段組設定や移動パレットを使用し、まずはフォーマットを作成。
15	カレンダー② フォーマットを元に、各月に別名でファイルを増やす。

授業科目		授業時数
シナリオ		60
学年	学科	コース
1	総合	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
浅尾 典彦		
前 期		
到達目標		
自由な発想力を身に付け、それをストーリーに落とし込むだけの企画・構成力を付ける。		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	表現者とは	当授業の内容と意図について、発想力の大切さ。出版社との関わり、表現者とは、インプットとアウトプット
2	コミックの進化1	初期の作品よりコミック表現の変遷
3	コミックの進化2	マンガジャンルの拡大とその戦略、コミックからアニメ・メディアミックスと媒体の拡大
4	プレゼンテーション	自己紹介を通じ説明の大切さと自分の目標を明示
5	ストーリー構成1	構成の成り立ち、「起承転結」「序破急」ほか、必然性
6	ストーリー構成2	物語の概念、テーマ、要素、配置について
7	ストーリー構成2	黄金パターン、分かった上での壊し、トレーニング5W1H発想法
8	ストーリー構成3	世界観、禁忌と表現、伏線の貼り方、オチを考える
9	キャラクター	キャラ表の意図、創作のポイント イメージから作る
10	世界観・対象	マンガ原作・プロットづくり、ターゲットを絞った戦略、実例、トレーニング・シーンから作る
11	企画(基礎)	企画テンプレート、表現について(コマの扱い)、発想イメージトレーニング
12	演出	ページ構成・視点について、ストーリーづくり基礎、シナリオとの違い
13	企画	企画書 書き方説明 注意点
14	テスト	企画書製作・提出
15	総評	総評(各自の作品アドバイス)

授業の方法		
講義・演習・実験・実技・実習		
授業概要		
基礎知識や心構え、構成力など総合的なテクニックを身につけ、独自のストーリーが創作ができる表現者をめざす講座。また多くの実例からそのテクニックやその意図、独自性を学び、取材することの大切さとセンスも養う。		
使用教材:アニメ・特撮・SFメディア読本		
後 期		
到達目標		
知識やアイデアを活かしネームを完成する		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目		実施内容
1	表現力をつける	マンガの要素について、キャラクター設計、企画意図
2	ストーリー1(アイディア出し・原案)	総合的な構成力をつける1 複数の要素をストーリーにまとめる
3	ストーリー2(構成)	ストーリーの調整、ドラマチックな構成(障害の効果的な配置など)、実例
4	描写1	物語に流れをつける、表現・大コマの効果、丁寧に表現するところと省略(ショートカット)、注意点、コマディについて、実例
5	描写2	心理表現、リアリティ、マンガ原作のルール、漫画原作という仕事、編集を味方につける
6	キャラクター(キャラクター表)	キャラクター再構築、世界観によりキャラの行動や描写が変わる。必然性、取材の大切さ、参考
7	キャラクター(作りこみ・配置ほか)	スポーツ、バトル、恋愛、歴史などジャンル別、キャラクター造形のまとめ1 実践トレーニング
8	演出効果(時間経過・伏線・ための効果)	ストーリー での整合性、許される嘘 実践トレーニング
9	実践プロット1	キャラクターをたてる、キャラ表まとめ 実践トレーニング
10	実践プロット2(ネーム)	伝わる表現とは、簡略化、、何が面白いか、スランプ脱出法、ネームの長さ 実践トレーニング
11	総合力(ネーム)	総合創作練習1
12	総合力(ネーム)	総合創作練習2
13	テスト	ネーム製作・提出
14	総評	テスト総評、各作品チェック、表現についてのポイントアドバイス
15	これからの心構え(まとめ)	コミックスの可能性、総合演出力について、メディアミックスとクロスメディア、表現者として生きる

授業科目		授業時数
色彩構成		60
学年	学科	コース
2	総合	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
山本まゆみ・樋口晃史		
前 期		
到達目標		
評価方法		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

授業の方法		
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習		
授業概要		
絵の具(透明水彩、ポスカ)の扱い方、混色を学び、色彩感覚の幅を広げ、自分の作品作りに活かせるようにする。※後期のみ開講。※後期のみ開講		
使用教材:		
後 期		
到達目標		
ポスターカラーの扱い方を習得し色彩の可能性を理解する		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	色彩『季節』四つ切り	1辺12cmの正方形6個を色彩構成 ①真冬 ②初春 ③入梅 ④真夏 ⑤初秋 ⑥晩秋 ※任意の5本の線を交錯しないように、画面の端から端に引き、6色の形を作ること。※ポスカラベタ塗り、黒は使用しない。※36(6色×6)の形は全て異なる色を塗る。
2	色彩『季節』四つ切り②	
3	色彩『色立体』B3ケント	与えられた図が立体的に見えるように彩色する。 ※光は右上から、ポスカラベタ塗り、黒禁止※全て異なる色を塗る ※1番手前の三色は レモンイエロー・ナイエロー・ディープ、パーミリオン・カーマイン、セルリアンブルー・コバルトブルー
4	色彩『色立体』②	2回目
5	色彩『紙コップ3態』B4ケント	与えられた紙コップを3個(大中小) 空中に浮遊した状態を描き、分割線2〜5本を描き彩色する。 ※紙コップは加工しない、縦横自由、ポスカラベタ塗り、黒禁止 ※余白は塗らない
6	色面構成	「ビール瓶」(総コミ2年生はコカコーラ瓶)
7	着彩描写『コカ・コーラ瓶』	四つ切り 透明水彩
8	水彩	野菜、果物3
9	水彩モチーフ表現	ハートランドビール瓶リボン三角定規
10	水彩モチーフ表現	ハートランドビール瓶リボン三角定規
11	着彩描写	着彩描写 ユッカ又はゴムの木
12	着彩描写	「手」を描く
13	顔スケッチ	コンテ、ダーマト水彩
14	色彩『エリック・カールに挑戦』	①スパッタリング、ドリッピング、ローラー、デカルゴマニエー、ハケ、など色々な技法で色鮮やかな絵を作る。抽象具象どちらでもよい。画用紙・ポスカ・厚子紙 ②①の絵を自由に切り貼りして絵を作る 抽象、具象どちらでもよい。木工用ボンド、ハサミ、カッターナイフ、カッターマット、題名と説明文100字を上質紙に書いて裏に貼る。
15	色彩『エリック・カールに挑戦』2回目	

授業科目		授業時数
色彩構成		60
学年	学科	コース
3	総合	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
山本まゆみ・樋口晃史		
前 期		
到達目標		
色を組み合わせることにより表れる、さまざまな効果を理解する		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	色彩『はめ絵』四つ切り 与えられた、複雑な形の画面を活かして、表情豊かなイラストレーションを描く。必ずデッサン室のモチーフを画面のどこかに入れる。ポスカラ、透明水彩、ペン	
2	はめ絵2回目	
3	きつねの嫁入り ポスターカラーペタ塗り 垂直と水平の線のみで抽象的に表現する	
4	CD浮遊 ポスターカラーペタ塗り 浮遊するCDを色面分けをして表現する	
5	ある出来事 ペン、ポスターカラー、透明水彩など与えられたある出来事 の文章からその後のストーリーを考えて6コマ漫画とイラストレーションを描く	
6		
7		
8	着彩描写 透明水彩 花を描く	
9	カップ麺 ペン、ポスターカラー、透明水彩などカップ麺を自由に表現する	
10		
11	コラージュ 与えられた写真のコピーを自由に切り貼りしてイラストレーションを作る	
12		
13	てんやわんや 抽象表現 円形画用紙 ポスターカラー	
14	予備日 今までの作品を再度確認、完成。	
15	スプーンにうつった自分 スプーンに変形してうつった自分の顔と背景を透明水彩とポスターカラーで表現する	

授業の方法		
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習		
授業概要		
2年生で学んだ色彩構成基礎を応用して各自の表現を模索し見つけていく。		
使用教材:		
後 期		
到達目標		
評価方法		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

授業科目		授業時数
ビジネスコミック		120
学年	学科	コース
2	総合	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
岩里 慶子		
前 期		
到達目標		
クライアントの趣旨を理解し作品を制作できる		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	(1)自己紹介 (2)本授業の主旨 (3)これからの内容について (1)全員参加の相互やりとりをする (2)ビジネスコミックで何を学ぶのか説明(今必要とされている漫画について) (例)心療内科の漫画でわかるシリーズ (各々好きな歴史上の人物を想起し、それについて調べる)	
2	歴史漫画にトライ！ B	・好きな歴史上の人物の功績を、2ページ漫画で制作 ペン入れて完成まで。 ・プロット、ネーム
3	歴史漫画にトライ！ B	ネーム完成 下描きへ
4	歴史漫画にトライ！	ペン入れ
5	歴史漫画にトライ！ B	ペン入れ完成提出
6	(1)漫画でわかるシリーズ テーブルマナー B	テキストを基に、結婚式でフランス料理の出る披露宴でのテーブルマナーを学び、実際に「漫画でわかるテーブルマナー」を制作 ・カトラー編/食事編 2～3ページ
7	(1)漫画でわかるシリーズ テーブルマナー	
8	(1)漫画でわかるシリーズ テーブルマナー B	
9	(1)漫画でわかるシリーズ テーブルマナー B	完成提出
10	公募にトライ！	デザイン魂への公募
11	公募にトライ！	デザイン魂への公募
12	(2)漫画でわかるシリーズ ①ビジネスマナー	テキストを基に、就職したとき、社会人になったときの最低限のビジネスマナーを学び、「漫画でわかるビジネスマナー」を制作(ネームまで) ・お辞儀・敬語・電話の取り方話し方繋ぎ方
13	(2)漫画でわかるシリーズ ②ビジネスマナー	テキストを基に、就職したとき、社会人になったときの最低限のビジネスマナーを学び、「漫画でわかるビジネスマナー」を制作(ネームまで) ・上座下座・ビジネスメールなど
14	CM絵コンテ制作	コマーシャルで、特にストーリー性のあるものを視聴し、商品を決め、60秒のミニドラマをつくってみる
15	CM絵コンテ制作	完成提出

授業の方法		
講義・演習・実験・実技・実習		
授業概要		
○クライアントの要請に応える ・自分が何を描きたいか、ではなく、クライアントが何を求めているかを知り、その要請に応える ビジネス用漫画制作 ・実際に公募する ・締め切りを守ること、自分で自分のスケジュールや行動計画を管理し実践することを通して、 社会人になるための準備		
使用教材:		
後 期		
到達目標		
商業漫画以外の漫画の可能性を理解する		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	小学生向け漫画制作	作品制作
2	小学生向け漫画制作	作品制作
3	商品アピール漫画作成	2ページネームまで 新商品の保険(スマホアプリで6000歩以上歩いたら割引になる保険)キャラクターをつくって紹介させる
4	商品アピール漫画作成	締め切り
5	予備日	アピール漫画が未完成の場合の制作 提出した生徒は自主作品制作
6	企業PR用漫画制作	企業向けPR用漫画の制作
7	企業PR用漫画制作	企業向けPR用漫画の制作
8	企業PR用漫画制作	企業向けPR用漫画の制作
9	企業PR用漫画制作	企業向けPR用漫画の制作
10	企業PR用漫画制作	企業向けPR用漫画の制作
11	人物の伝記を漫画にする	歴史上の人物の伝記を漫画にする
12	人物の伝記を漫画にする	歴史上の人物の伝記を漫画にする
13	人物の伝記を漫画にする	歴史上の人物の伝記を漫画にする
14	人物の伝記を漫画にする	歴史上の人物の伝記を漫画にする
15	人物の伝記を漫画にする	歴史上の人物の伝記を漫画にする

授業科目		授業時数
エフェクトデザイン		60
学年	学科	コース
3	総合	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
寺嶋 徹		
前 期		
到達目標		
評価方法		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
魔法や自然現象のエフェクト素材を作成し、アニメーションさせる。作った作品はhtml、html5上で動くように編集します。基本、prominenceを使いますが、アフターエフェクトも使えるようになってもらいます。※後期のみ開講	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
prominenceやAfterEffectsの基本操作を理解し、簡単なエフェクトを制作できる	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	エフェクト制作の基礎 ゲーム背景にアニメーションエフェクトを入れる。たいまつ、水の透明感など
2	エフェクト制作の基礎 ゲーム背景にアニメーションエフェクトを入れる。たいまつ、水の透明感など
3	エフェクト制作の基礎 ゲーム背景にアニメーションエフェクトを入れる。たいまつ、水の透明感など
4	キャラクターを動かす キャラの動作パターン作成①
5	キャラクターを動かす キャラの動作パターン作成②
6	高度なエフェクト制作 火の魔法のパターン作成
7	高度なエフェクト制作 火の魔法のアニメーション作成
8	高度なエフェクト制作 水の魔法のパターン作成
9	高度なエフェクト制作 水の魔法のアニメーション作成
10	高度なエフェクト制作 風の魔法のパターン作成
11	高度なエフェクト制作 風の魔法のアニメーション作成
12	高度なエフェクト制作 雷の魔法のパターン作成
13	高度なエフェクト制作 雷の魔法のアニメーション作成
14	高度なエフェクト制作 召還魔法のパターン作成
15	高度なエフェクト制作 召還魔法のアニメーション作成

授業科目		授業時数
プロダクト制作		120
学年	学科	コース
3	総合学科	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
伊丹繁幸 (イラストレーション、キャラクター制作、グラフィックデザイン、webサイト制作、各種ゲーム企画・制作、ソフトウェアインストラクター、映像制作全般、3D制作・アニメーション、ソフトウェア開発などに携わる)		
前 期		
到達目標		
Mayaの基本的な使用方法(モデリング、マテリアル設定)を学ぶ。		
評価方法		
筆記試験・実技試験・ 実習評価 ・ 課題評価 ・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	3D制作の基礎 プリミティブによる家の制作	
2	3D制作の基礎 スケッチ Mayaの基本操作実習(カメラ移動、オブジェクトの移動、回転、拡張、)	
3	モデリングの基礎 1 ポリゴン	
4	モデリングの基礎 3 ポリゴン	
5	モデリングの基礎 5 UVの編集、テクスチャー	
6	マテリアルの基礎 7 UVの編集、テクスチャー	
7	カメラ、照明、レンダリングの基礎 1	
8	カメラ、照明、レンダリングの基礎 3	
9	カメラ、照明、レンダリングの基礎 5	
10	カメラ、照明、レンダリングの基礎 7	
11	キャラクターの制作 1	
12	キャラクターの制作 2	
13	キャラクターの制作 3	
14	キャラクターの制作 4	
15	キャラクターのアニメーション1	
	キャラクターのアニメーション3	

授業の方法	
講義 ・ 演習 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
Mayaにおける基礎的なポリゴンモデリング、カーブモデリングを中心に学びます。また、基本的なモデリングの他、マテリアル設定(UV設定)、簡単なキャラクター作成、キャラクターに対してのスケルトン、スキニングなどを行い、カメラワークを加えたアニメーション作成を行うことによって、早期に3Dアニメーション制作の概要を体験することを目指しています。	
使用教材 : Maya Photoshop AfterEffects Storyboarder Premire他	
後 期	
到達目標	
Mayaの基本的な使用方法(モデリング、マテリアル設定)に加え、キャラクターアニメーションの基礎を学ぶ。	
評価方法	
筆記試験・実技試験・ 実習評価 ・ 課題評価 ・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	背景3DCG 基礎 1
2	背景3DCG 基礎 3
3	背景3DCG 基礎 5
4	背景3DCG 基礎 7
5	トゥーンマテリアルの設定とレンダリング 1
6	トゥーンマテリアルの設定とレンダリング 3
7	トゥーンマテリアルの設定とレンダリング 5
8	トゥーンマテリアルの設定とレンダリング 7
9	終了課題
10	終了課題
11	終了課題
12	終了課題
13	終了課題
14	終了課題
15	終了課題

授業科目		授業時数
撮影・編集		120
学年	学科	コース
3	総合学科	総合コミックコース
担当講師(プロフィール)		
伊丹繁幸 (イラストレーション、キャラクター制作、グラフィックデザイン、webサイト制作、各種ゲーム企画・制作、ソフトウェアインストラクター、映像制作全般、3D制作・アニメーション、ソフトウェア開発などに携わる)		
前 期		
到達目標		
Mayaの基本的な使用方法(モデリング、マテリアル設定)を学ぶ。		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	3D制作の基礎 プリミティブによる家の制作	
2	モデリングの基礎 1 ポリゴン	
3	モデリングの基礎 3 ポリゴン	
4	モデリングの基礎 5 UVの編集、テクスチャー	
5	マテリアルの基礎 7 UVの編集、テクスチャー	
6	カメラ、照明、レンダリングの基礎 1	
7	カメラ、照明、レンダリングの基礎 3	
8	カメラ、照明、レンダリングの基礎 5	
9	カメラ、照明、レンダリングの基礎 7	
10	キャラクタの制作 1	
11	キャラクタの制作 2	
12	キャラクタの制作 3	
13	キャラクタの制作 4	
14	キャラクタのアニメーション1	
15	キャラクタのアニメーション3	

授業の方法	
講義 ・ 演習 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
Mayaにおける基礎的なポリゴンモデリング、カーブモデリングを中心に学びます。 また、基本的なモデリングの他、マテリアル設定(UV設定)、簡単なキャラクター作成、キャラクターに対してのスケルトン、スキニングなどを行い、カメラワークを加えたアニメーション作成を行うことによって、早期に3Dアニメーション制作の概要を体験することを目指しています。	
使用教材 : Maya Photoshop AfterEffects Storyboarder Premire他	
後 期	
到達目標	
Mayaの基本的な使用方法(モデリング、マテリアル設定)に加え、 キャラクターアニメーションの基礎を学ぶ。	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	背景3DCG 基礎 1
2	背景3DCG 基礎 3
3	背景3DCG 基礎 5
4	背景3DCG 基礎 7
5	トゥーンマテリアルの設定とレンダリング 1
6	トゥーンマテリアルの設定とレンダリング 3
7	トゥーンマテリアルの設定とレンダリング 5
8	トゥーンマテリアルの設定とレンダリング 7
9	終了課題
10	終了課題
11	終了課題
12	終了課題
13	終了課題
14	終了課題
15	終了課題

シラバス

声優学科

総合声優コース

授業科目		授業時数
放送制作		120
学年	学科	コース
1	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
豊田 記子		
前 期		
到達目標		
フリートーク、レポート、MCのトーク		
評価方法		
筆記試験・ 実技試験 ・実習評価・課題評価・小テスト・ その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 授業ガイダンス ラジオ番組制作	授業概要に関するガイダンス	
2 ラジオ番組制作の基礎①	ラジオ番組制作におけるパーソナリティとしてのトーク内容 使用機材(ミキサー、CDなど)のレクチャー	
3 ラジオ番組制作の基礎②	ラジオ番組制作におけるパーソナリティとしてのトーク内容 使用機材(ミキサー、CDなど)のレクチャー	
4 ラジオ番組制作の基礎③	ラジオ番組制作におけるパーソナリティとしてのトーク内容 使用機材(ミキサー、CDなど)のレクチャー	
5 ラジオ番組制作の基礎④	ラジオ番組制作におけるパーソナリティとしてのトーク内容 使用機材(ミキサー、CDなど)のレクチャー	
6 イベントMCの基礎①	『声優教本』のMC台本を使用した指導 MCとしての立ち振る舞い、ハンドマイクの使用	
7 イベントMCの基礎②	『声優教本』のMC台本を使用した指導 MCとしての立ち振る舞い、ハンドマイクの使用	
8 イベントMCの基礎③	『声優教本』のMC台本を使用した指導 MCとしての立ち振る舞い、ハンドマイクの使用	
9 番組におけるレポートの基礎①	学校紹介、食品を題材としたレポートの指導 ビデオカメラで撮影してのレポート	
10 番組におけるレポートの基礎②	学校紹介、食品を題材としたレポートの指導 ビデオカメラで撮影してのレポート	
11 ラジオCM、ナレーションの基礎①	『声優教本』から、ラジオCM、ナレーション台本の指導	
12 ラジオCM、ナレーションの基礎②	『声優教本』から、ラジオCM、ナレーション台本の指導	
13 夏休み中の課題を実践	夏休み中の課題である、『ラジオ番組オープニングトーク』 『オリジナルCM 30秒』の実践	
14 前期試験	ラジオOPTーク、MC	
15 前期試験返却 前期授業まとめ	前期のまとめ	

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
ラジオ番組を中心とした放送におけるナレーション、フリートーク、またレポートやMCなど、さまざまな場面を想定したトークを学びます。 学内行事である『ラジオCMコンテスト』では、テーマに沿ったラジオCMをグループで制作し、学科全体でコンテストを行います。行事でのMCもクラスから選出された学生が行います。	
使用教材: ストップウォッチ、新明解日本語アクセント辞典等	
後 期	
到達目標	
ラジオCM制作における企画、収録の流れ	
評価方法	
筆記試験・ 実技試験 ・実習評価・課題評価・小テスト・ その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1 ラジオ番組制作	実践的なラジオパーソナリティとしてのトーク
2 MC	実践的なイベントでのMC 学内行事を想定してのMCレクチャー
3 学内行事 『ラジオCMコンテスト』でのMCオーディション	学内行事 『ラジオCMコンテスト』でのMCを選出するための、 クラスオーディション
4 学内行事 『ラジオCMコンテスト』でのラジオCM制作①	学内行事 『ラジオCMコンテスト』でのラジオCM制作 各グループに分かれての企画、台本作、収録作業
5 学内行事 『ラジオCMコンテスト』でのラジオCM制作②	学内行事 『ラジオCMコンテスト』でのラジオCM制作 各グループに分かれての企画、台本作、収録作業
6 学内行事 『ラジオCMコンテスト』でのラジオCM制作③	学内行事 『ラジオCMコンテスト』でのラジオCM制作 各グループに分かれての企画、台本作、収録作業
7 学内行事 『ラジオCMコンテスト』でのラジオCM制作④	学内行事 『ラジオCMコンテスト』でのラジオCM制作 各グループに分かれての企画、台本作、収録作業
8 さまざまなイベントでのMC	学内・学外イベントなどを想定した実践的なMC
9 ラジオ番組制作①	ラジオ番組制作のまとめ
10 ラジオ番組制作②	ラジオ番組制作のまとめ
11 ラジオ番組制作③	ラジオ番組制作のまとめ
12 冬休み中の課題を実践	前期終了時に決定した府休み中の課題の実践
13 1年間を通じての弱点克服	個々の弱点を見直し、克服するための指導
14 後期試験	
15 後期試験返却 後期授業まとめ	後期のまとめ

授業科目		授業時数
放送制作		120
学年	学科	コース
2	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
伊舞 なおみ		
前 期		
到達目標		
校内ラジオ番組の制作		
評価方法		
筆記試験・ <u>実技試験</u> ・ <u>実習評価</u> ・課題評価・小テスト・ <u>その他</u>		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 自己紹介	自己紹介	
2 番組概要作成	番組の内容、制作方針について検討	
3 番組概要作成	番組の内容、制作方針について検討	
4 番組ジングル作成	番組で使用するジングル制作	
5 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録	
6 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録	
7 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録	
8 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録	
9 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録	
10 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録	
11 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録	
12 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録	
13 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録	
14 前期試験	校内ラジオ番組の収録	
15 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録	

授業の方法	
講義 ・ <u>演習</u> ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
校内で昼休み中に放送される30分枠のラジオ番組制作を行います。企画～制作～出演～収録をグループごとで行い、ディレクターやタイムキーパーといったスタッフの役割と、その重要性も学んでいきます。また、SNSの更新も行うことで自己プロデュース力も養っていきます。	
使用教材: ストップウォッチ、新明解日本語アクセント辞典等	
後 期	
到達目標	
校内ラジオ番組の制作	
評価方法	
筆記試験・ <u>実技試験</u> ・ <u>実習評価</u> ・課題評価・小テスト・ <u>その他</u>	
授業計画	
授業項目	実施内容
1 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録
2 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録
3 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録
4 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録
5 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録
6 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録
7 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録
8 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録
9 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録
10 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録
11 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録
12 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録
13 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録
14 後期試験	
15 番組収録 次回の内容企画	校内ラジオ番組の収録

授業科目		授業時数
業界概論		60
学年	学科	コース
1	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
佐野 美波		
前 期		
到達目標		
声優業界に必要な知識・パソコンに関する知識の習得		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 授業ガイダンス 機材説明	HR 連絡事項 カラオケ機器の使い方	
2 HR 適正診断テスト 録音ソフトの使用方法	連絡事項 適正診断テストの実施 「GarageBand」の使用方法について	
3 HR 声優業界についてのルール、マナーに関して	連絡事項 声優業界における、業界用語やルール、マナーに関するレクチャー	
4 HR PCガイダンス①	連絡事項 パソコンの使い方 拡張子、データの送り方について	
5 HR プレゼン練習①	連絡事項 プレゼン形式でのフリートーク練習	
6 HR 一般常識テスト①	連絡事項 一般常識問題による小テスト	
7 HR PCガイダンス②	連絡事項 パソコンの使い方	
8 HR プロフィール用紙について	連絡事項 プロフィール用紙の解説	
9 HR プレゼン練習②	連絡事項 プレゼン形式でのフリートーク練習	
10 HR 一般常識テスト②	連絡事項 一般常識問題による小テスト	
11 着付け講座	着付け講師を招いての浴衣着付け講座	
12 HR 2年生授業内発表見学	連絡事項 2年生による舞台発表の見学	
13 HR インプロゲーム	連絡事項 演技を交えたゲームを実施	
14 前期試験		
15 前期まとめ		

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
声優業界にとって必要な知識、ルールやマナーを現場目線で学びます。また、進路決定に向けてのレクチャーや、オーディションで必要となるボイスサンプルを制作するためのパソコン知識の習得を目指し、進路活動に取り組んでいきます。	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
進路に関する流れ、パソコンに関する知識の習得	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1 HR 進路に関するレクチャー①	連絡事項 進路決定までの流れ、 各授業での取り組み方
2 HR PCガイダンス③	連絡事項 音声編集ソフトの知識
3 HR PCガイダンス④	連絡事項 音声編集ソフトの知識
4 HR プレゼン練習③	連絡事項 プレゼン形式でのフリートーク練習
5 HR 学園祭準備	連絡事項 学園祭コンテンツ制作
6 HR 一般常識テスト③	連絡事項 一般常識問題による小テスト
7 HR インプロゲーム	連絡事項 演技を交えたゲームを実施
8 HR PCガイダンス⑤	連絡事項 台本の書き方
9 HR プレゼン練習④	連絡事項 プレゼン形式でのフリートーク練習
10 HR プレゼン練習⑤	連絡事項 プレゼン形式でのフリートーク練習
11 HR 一般常識テスト④	連絡事項 一般常識問題による小テスト
12 HR 進路に関するレクチャー②	連絡事項 進路決定に向けて
13 HR 舞台発表に向けて	連絡事項 進級公演に向けての稽古
14 後期試験	
15 後期まとめ	

授業科目		授業時数
業界概論		60
学年	学科	コース
2	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
佐野 美波		
前 期		
到達目標		
フリートークスキルの習得、PC操作の習得		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 授業ガイダンス	HR 連絡事項 スケジュール確認	
2 HR PCガイダンス①	連絡事項 PCを使った編集について	
3 HR セミナー①	連絡事項 お金に関するセミナー	
4 HR プレゼン練習①	連絡事項 プレゼン形式でのフリートーク練習	
5 HR 一般常識テスト①	連絡事項 一般常識問題を用いたテスト	
6 HR セミナー②	連絡事項 自己プロデュースに関するセミナー	
7 HR CAT祭りの準備	連絡事項 CAT祭りに向けたコンテンツ制作	
8 HR PCガイダンス②	連絡事項 PCを使った編集について	
9 HR PCガイダンス③	連絡事項 PCを使った編集について	
10 HR プレゼン練習②	連絡事項 プレゼン形式でのフリートーク練習	
11 HR 一般常識テスト②	連絡事項 一般常識問題を用いたテスト	
12 HR インプロゲーム	連絡事項 演技を交えたゲームを実施	
13 HR プレゼン練習③	連絡事項 プレゼン形式でのフリートーク練習	
14 前期試験		
15 前期まとめ		

授業の方法	
講義 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
1年次に引き続き、声優を取り巻くさまざまな現場に関わるスタッフや、役割を学び、現場での心構え、マナーなど進路に向けたスキルアップを目指します。	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
進路に向けた情報収集、自己PRの作成	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1 HR 業界研究①	連絡事項 オーディション結果を元にした業界研究
2 HR 業界研究②	連絡事項 オーディション結果を元にした業界研究
3 HR プレゼン練習④	連絡事項 プレゼン形式でのフリートーク練習
4 HR 一般常識テスト③	連絡事項 一般常識問題による小テスト
5 HR インプロゲーム	連絡事項 演技を交えたゲームを実施
6 HR 学園祭準備	連絡事項 学園祭コンテンツ制作
7 HR プレゼン練習⑤	連絡事項 プレゼン形式でのフリートーク練習
8 HR 個別面談①	連絡事項 進路面談
9 HR 個別面談②	連絡事項 進路面談
10 HR 一般常識テスト④	連絡事項 一般常識問題による小テスト
11 HR インプロゲーム	連絡事項 演技を交えたゲームを実施
12 HR プレゼン練習⑥	連絡事項 プレゼン形式でのフリートーク練習
13 HR 舞台公演の準備	連絡事項 自主稽古
14 後期試験	
15 後期まとめ	

授業科目		授業時数
業界概論		60
学年	学科	コース
3	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
佐野 美波		
前 期		
到達目標		
進路に向けた情報収集、自己PRの作成		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 授業ガイダンス	HR 連絡事項 スケジュール確認	
2 HR セミナー①	連絡事項 お金に関するセミナー	
3 HR プレゼン練習①	連絡事項 プレゼン形式でのフリートーク練習	
4 HR 一般常識テスト①	連絡事項 一般常識問題を用いたテスト	
5 HR 進路研究	連絡事項 各事務所の情報収集	
6 HR セミナー②	連絡事項 自己プロデュースに関するセミナー	
7 HR CAT祭りの準備	連絡事項 CAT祭りに向けたコンテンツ制作	
8 HR プロダクション説明会希望調査	連絡事項 プロダクション説明会における参加希望調査	
9 HR 一般常識テスト②	連絡事項 一般常識問題による小テスト	
10 HR 自己PR発表	連絡事項 自己PRの実践	
11 HR 情報共有会①	連絡事項 プロダクション説明会を終えての情報共有	
12 HR 情報共有会②	連絡事項 プロダクション説明会を終えての情報共有	
13 HR 衣装チェック	連絡事項 オーディション用の衣装チェック	
14 前期試験		
15 前期まとめ		

授業の方法	
講義 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
自己PRの作成、衣装チェックなど、校内オーディションに向けた取り組みを行い、進路決定に向けて業界研究を進めていきます。	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
進路決定、卒業に関する各行事の準備	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1 HR 業界研究①	連絡事項 オーディション結果を元にした業界研究
2 HR プレゼン練習②	連絡事項 プレゼン形式でのフリートーク練習
3 HR プレゼン練習③	連絡事項 プレゼン形式でのフリートーク練習
4 HR 一般常識テスト③	連絡事項 一般常識問題による小テスト
5 HR インプロゲーム	連絡事項 演技を交えたゲームを実施
6 HR 学園祭準備	連絡事項 学園祭コンテンツ制作
7 HR プレゼン練習④	連絡事項 プレゼン形式でのフリートーク練習
8 HR 個別面談	連絡事項 進路決定に向けた個別面談
9 HR 個別面談	連絡事項 進路決定に向けた個別面談
10 HR 一般常識テスト④	連絡事項 一般常識問題による小テスト
11 HR 卒業公演、卒業コンサート、卒業制作作品の準備	連絡事項 それぞれのコースの卒業制作作品の準備や、卒業公演でのフライヤー、集客に関する準備
12 HR 卒業公演、卒業コンサート、卒業制作作品の準備	連絡事項 それぞれのコースの卒業制作作品の準備や、卒業公演でのフライヤー、集客に関する準備
13 HR 卒業公演、卒業コンサート、卒業制作作品の準備	連絡事項 それぞれのコースの卒業制作作品の準備や、卒業公演でのフライヤー、集客に関する準備
14 後期試験	
15 後期まとめ	

授業科目		授業時数
声優基礎		60
学年	学科	コース
1	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
伊舞 なおみ (テレビやラジオCMナレーション、その他多数の舞台、映画、ドラマに出演)		
前 期		
到達目標		
声優としての基礎技術の習得		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 授業ガイダンス 声優基礎①	自己紹介シート記入～自己紹介 1年間の概要 発声・顔の体操など 腹式呼吸	
2 声優基礎②	日本語の標準音 アクセントの型	
3 声優基礎③	連母音、長母音 アクセントの型	
4 おさらい	先週までの復習、調整	
5 声優基礎④	有声音と無声音、母音の無声化 形容詞のアクセント	
6 小テスト	小テスト 母音伝言ゲーム	
7 小テスト復習	小テスト復習、無声化練習	
8 声優基礎⑤	鼻濁音 形容詞のアクセント	
9 おさらい	鼻濁音おさらいと練習 動詞のアクセント	
10 滑舌練習①	滑舌練習 動詞のアクセント	
11 滑舌練習②	滑舌練習 動詞のアクセント	
12 前期総復習	発声、滑舌練習、音読など	
13 前期総復習	アクセント復習と練習	
14 前期試験		
15 前期まとめ	試験の答え合わせ、復習、まとめ	

授業の方法	
講義 演習・実験・実技・実習	
授業概要	
声優にとって基本となる、無声化や鼻濁音、アクセントなどの基礎を学びます。また、イントネーションやチェンジオブペースなど読みに関する技術を習得します。	
使用教材:新明解日本語アクセント辞典等	
後 期	
到達目標	
読みに関する技術の習得	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1 読みに関する基礎	アクセントステップアップ編 滑舌演習 アクセント50題
2 読みに関する基礎	イントネーション アクセント50題
3 読みに関する基礎	間(ポーズ)とは ポーズ練習素材 アクセント50題
4 読みに関する基礎	アクセント50題 間と抑揚と緩急
5 読みに関する基礎	プロミネンス(卓立、強調)とは プロミネンス練習素材 アクセント51題
6 読みに関する基礎	アクセント50題 エモーション
7 読みに関する基礎	アクセント50題 CMナレーション(ジャックの建てた家)
8 読みに関する基礎	アクセント50題 CM、ナレーション、朗読、ニュースなど
9 読みに関する基礎	アクセント50題 CM、ナレーション、朗読、ニュースなど
10 読みに関する基礎	CM、ナレーション、朗読、ニュースなど (羅生門、坊ちゃん)
11 読みに関する基礎	CM、ナレーション、朗読、ニュースなど (あらしのよるに)
12 読みに関する基礎	CM、ナレーション、朗読、ニュースなど 後期テスト説明、プリント配布
13 読みに関する基礎	調整、総復習
14 後期試験	
15 後期まとめ	後期テスト復習

授業科目		授業時数
キャリアデザイン		60
学年	学科	コース
1	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
岡本 光央		
前 期		
到達目標		
自己PR、スタイリング、プロフィール写真		
評価方法		
筆記試験・ 実技試験 ・実習評価・課題評価・小テスト・ その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	授業ガイダンス オーディション基礎に関して自己紹介	
2	他己紹介 他己紹介	
3	ファッション・姿勢・カメラ写りチェック① 身だしなみ、姿勢の確認 実際に写真を撮ってのカメラ写りチェック	
4	ファッション・姿勢・カメラ写りチェック② 身だしなみ、姿勢の確認 実際に写真を撮ってのカメラ写りチェック	
5	ファッション・姿勢・カメラ写りチェック③ 身だしなみ、姿勢の確認 実際に写真を撮ってのカメラ写りチェック	
6	ファッション・姿勢・カメラ写りチェック④ 身だしなみ、姿勢の確認 実際に写真を撮ってのカメラ写りチェック	
7	自己PR作成① 自己PRの文章作成	
8	自己PR作成② 作成した文章のチェック、修正	
9	自己PR作成③ 自己PRの練習	
10	プロフィール用写真撮影 プロフィール用写真の撮影	
11	模擬オーディションリハーサル ステージを使っでのリハーサル	
12	フィードバック 前週のリハーサルを踏まえての振り返り	
13	模擬オーディションの振り返り 夏休み中に実施した模擬オーディションの映像チェック・振り返り	
14	前期試験	
15	試験のフィードバック 前期のまとめ 試験の振り返り	

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
自分自身を深く知り、それを活かして他者に魅力をアピールする方法を研究していきます。また、オーディションを想定した衣装、メイク、プロフィール写真、立ち姿など、オーディションにおいて必要な知識、準備などのスキルアップを目指します。	
使用教材:声優教本(オリジナルテキスト)、新明解日本語アクセント辞典等	
後 期	
到達目標	
自己PRのブラッシュアップ	
評価方法	
筆記試験・ 実技試験 ・実習評価・課題評価・小テスト・ その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	オーディション映像チェック 2年生の校内オーディション映像チェック・分析
2	ファッション・姿勢・カメラ写りチェック① 身だしなみ、姿勢の確認 実際に写真を撮ってのカメラ写りチェック
3	ファッション・姿勢・カメラ写りチェック② 身だしなみ、姿勢の確認 実際に写真を撮ってのカメラ写りチェック
4	ファッション・姿勢・カメラ写りチェック③ 身だしなみ、姿勢の確認 実際に写真を撮ってのカメラ写りチェック
5	ファッション・姿勢・カメラ写りチェック④ 身だしなみ、姿勢の確認 実際に写真を撮ってのカメラ写りチェック
6	自己PR作成① 自己PRの文章作成
7	自己PR作成② 自己PRの文章作成
8	自己PR作成③ 作成した文章のチェック、修正
9	自己PR作成④ 自己PRの練習
10	自己PR作成⑤ 自己PRの練習
11	自己PR作成⑥ 自己PRの練習
12	オーディションリハーサル 実際のオーディション形式での練習
13	フィードバック 前週のリハーサルを踏まえての振り返り
14	後期試験
15	後期まとめ 1年間のまとめ 試験の振り返り

授業科目		授業時数
ボーカル		60
学年	学科	コース
1	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
中川 永実子		
前 期		
到達目標		
発声の基礎、課題曲、自由曲の歌唱		
評価方法		
筆記試験・ <u>実技試験</u> ・実習評価・課題評価・小テスト・ <u>その他</u>		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	授業ガイダンス	授業概要の説明 自己紹介 ストレッチ
2	発声の基礎① 課題曲ガイダンス①	発声 / 音域チェック 課題曲の説明
3	発声の基礎② 課題曲ガイダンス②	発声② 課題曲ガイダンス / レクチャー
4	発声の基礎③ 課題曲①	発声③ 課題曲を使用した歌唱指導①
5	発声の基礎④ 課題曲①	発声④ 課題曲を使用した個別歌唱指導①
6	発声の基礎⑤ 課題曲①	発声⑤ 課題曲を使用した個別歌唱指導②
7	発声の基礎⑥ 課題曲の発表	発声⑥ 課題曲の個別発表
8	発声の基礎⑦ 自由曲①	発声⑦ 自由曲を使用した歌唱指導①
9	発声の基礎⑧ 自由曲①	発声⑧ 自由曲を使用した歌唱指導②
10	発声の基礎⑨ 自由曲の発表	発声⑨ 自由曲の個別発表
11	発声の基礎⑩ 前期試験楽曲	発声⑩ 前期試験楽曲を使用した歌唱指導①
12	発声の基礎⑪ 前期試験楽曲	発声⑪ 前期試験楽曲を使用した歌唱指導①
13	発声の基礎⑫ 前期試験楽曲	発声⑫ 前期試験楽曲を使用した歌唱指導①
14	前期試験	
15	前期まとめ	前期のまとめ

授業の方法		
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ <u>実習</u>		
授業概要		
課題曲、自由曲を使用し、腹式呼吸、発声など声優としての基礎を歌を通じて学びます。クラスでの発表では、人前で歌うパフォーマンス力も身につけます。		
使用教材:		
後 期		
到達目標		
リズム、ピッチの基礎、課題曲、自由曲の歌唱		
評価方法		
筆記試験・ <u>実技試験</u> ・実習評価・課題評価・小テスト・ <u>その他</u>		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	発声 リズム・ピッチの基礎 課題曲ガイダンス	発声 リズム・ピッチの指導
2	発声 リズム・ピッチの基礎 課題曲ガイダンス	発声 リズム・ピッチの指導
3	発声 リズム・ピッチの基礎 課題曲②	発声 リズム・ピッチの指導 課題曲を使用した歌唱指導
4	発声 リズム・ピッチの基礎 課題曲②	発声 リズム・ピッチの指導 課題曲を使用した歌唱指導
5	発声 リズム・ピッチの基礎 課題曲②	発声 リズム・ピッチの指導 課題曲を使用した歌唱指導
6	発声 リズム・ピッチの基礎 課題曲②	発声 リズム・ピッチの指導 課題曲を使用した歌唱指導
7	発声 リズム・ピッチの基礎 課題曲の発表	発声 リズム・ピッチの指導 課題曲を使用した歌唱指導
8	発声 リズム・ピッチの基礎 自由曲②	発声 リズム・ピッチの指導 自由曲を使用した歌唱指導
9	発声 リズム・ピッチの基礎 自由曲②	発声 リズム・ピッチの指導 自由曲を使用した歌唱指導
10	発声 リズム・ピッチの基礎 自由曲②	発声 リズム・ピッチの指導 自由曲を使用した歌唱指導
11	発声 リズム・ピッチの基礎 自由曲②	発声 リズム・ピッチの指導 自由曲を使用した歌唱指導
12	発声 リズム・ピッチの基礎 自由曲の発表	発声 リズム・ピッチの指導 自由曲の個別発表
13	発声 リズム・ピッチの基礎 後期試験楽曲	発声 リズム・ピッチの指導 後期試験楽曲を使用した歌唱指導
14	後期試験	
15	1年間のまとめ	1年間のまとめ

授業科目		授業時数
ボーカル		60
学年	学科	コース
2	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
茜 櫻 薫乃夏		
前 期		
到達目標		
課題曲を用いた歌唱テクニック		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 授業ガイダンス 課題曲選曲ミーティング①	授業説明 個別の課題曲選曲	
2 課題曲選曲ミーティング②	個別の課題曲選曲	
3 課題曲選曲ミーティング③	個別の課題曲選曲	
4 前期REC課題曲歌唱実技①	レコーディング楽曲の歌唱実技 ボーカル中級	
5 前期REC課題曲歌唱実技②	レコーディング楽曲の歌唱実技 ボーカル中級	
6 前期REC課題曲歌唱実技③	レコーディング楽曲の歌唱実技 ボーカル中級	
7 前期REC課題曲歌唱実技④	レコーディング楽曲の歌唱実技 ボーカル中級	
8 課題曲選曲ミーティング①	個別の課題曲選曲	
9 課題曲選曲ミーティング②	個別の課題曲選曲	
10 レコーディング実習① 課題曲歌唱実技⑤	個別のボーカルレコーディング	
11 レコーディング実習② 課題曲歌唱実技⑥	個別のボーカルレコーディング	
12 レコーディング実習③ 課題曲歌唱実技⑦	個別のボーカルレコーディング	
13 課題曲歌唱実技⑧	ボーカル中級	
14 前期試験		
15 前期試験講評		

授業の方法		
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習		
授業概要		
ボーカル実習2では、中級程度のボーカルテクニックの指導を行いながら、前期は校内オーディション宣材RECのための準備練習。後期は卒業コンサートでの歌唱演目練習を主に行います。様々なイベントに向けての準備練習を行うことで、より即戦力になる実力をつけることを目標にしています。		
使用教材:		
後 期		
到達目標		
ステージパフォーマンスを取り入れた歌唱テクニック		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 課題曲選曲ミーティング①	個別の課題曲選曲	
2 課題曲選曲ミーティング②	個別の課題曲選曲	
3 課題曲歌唱実技①	ボーカルテクニック	
4 課題曲歌唱実技②	ボーカルテクニック	
5 課題曲歌唱実技③	ボーカルテクニック	
6 課題曲歌唱実技④	ボーカルテクニック	
7 課題曲歌唱実技⑤	ステージパフォーマンス	
8 課題曲歌唱実技⑥	ステージパフォーマンス	
9 課題曲歌唱実技⑦	ステージパフォーマンス	
10 課題曲歌唱実技⑧	ステージパフォーマンス	
11 課題曲歌唱実技⑨	ステージパフォーマンス	
12 課題曲歌唱実技⑩	ステージパフォーマンス	
13 課題曲歌唱実技⑪	ステージパフォーマンス	
14 後期試験		
15 後期試験講評		

授業科目		授業時数
ボーカル		60
学年	学科	コース
3	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
茜 櫻 薫乃夏		
前 期		
到達目標		
校内オーディションに向けたボーカルレコーディング		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 授業ガイダンス 課題曲選曲ミーティング①	授業説明 個別の課題曲選曲	
2 課題曲選曲ミーティング②	個別の課題曲選曲	
3 課題曲選曲ミーティング③	個別の課題曲選曲	
4 前期REC課題曲歌唱実技①	レコーディング楽曲の歌唱実技 ボーカル上級	
5 前期REC課題曲歌唱実技②	レコーディング楽曲の歌唱実技 ボーカル上級	
6 前期REC課題曲歌唱実技③	レコーディング楽曲の歌唱実技 ボーカル上級	
7 前期REC課題曲歌唱実技④	レコーディング楽曲の歌唱実技 ボーカル上級	
8 課題曲選曲ミーティング①	個別の課題曲選曲	
9 課題曲選曲ミーティング②	個別の課題曲選曲	
10 レコーディング実習① 課題曲歌唱実技⑤	個別のボーカルレコーディング	
11 レコーディング実習② 課題曲歌唱実技⑥	個別のボーカルレコーディング	
12 レコーディング実習③ 課題曲歌唱実技⑦	個別のボーカルレコーディング	
13 課題曲歌唱実技⑧	ボーカル上級	
14 前期試験		
15 前期試験講評		

授業の方法		
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習		
授業概要		
2年次に引き続き、さまざまなボーカルテクニックを学びながら、レコーディングやライブなどでの、歌唱演目練習を主に行い、より即戦力になる実力をつけることを目標にしています。		
使用教材:		
後 期		
到達目標		
卒業コンサートに向けた歌唱テクニック		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 課題曲選曲ミーティング①	個別の課題曲選曲	
2 課題曲選曲ミーティング②	個別の課題曲選曲	
3 課題曲歌唱実技①	ボーカルテクニック	
4 課題曲歌唱実技②	ボーカルテクニック	
5 課題曲歌唱実技③	ボーカルテクニック	
6 課題曲歌唱実技④	ボーカルテクニック	
7 課題曲歌唱実技⑤	卒業コンサートに向けた準備	
8 課題曲歌唱実技⑥	卒業コンサートに向けた準備	
9 課題曲歌唱実技⑦	卒業コンサートに向けた準備	
10 課題曲歌唱実技⑧	卒業コンサートに向けた準備	
11 課題曲歌唱実技⑨	卒業コンサートに向けた準備	
12 課題曲歌唱実技⑩	卒業コンサートに向けた準備	
13 課題曲歌唱実技⑪	卒業コンサートに向けた準備	
14 後期試験		
15 後期試験講評		

授業科目		授業時数
ダンス		60
学年	学科	コース
1	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
河合 美和		
前 期		
到達目標		
ダンス基礎、ストレッチ、筋力トレーニング		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 授業ガイダンス	自己紹介 ストレッチ説明	
2 ダンス実技	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント リズムトレーニング コンビネーション	
3 ダンス実技	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント リズムトレーニング コンビネーション	
4 ダンス実技	ストレッチ 振付	
5 ダンス実技	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント リズムトレーニング コンビネーション	
6 ダンス実技	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント リズムトレーニング コンビネーション	
7 ダンス実技	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント リズムトレーニング コンビネーション	
8 ダンス実技	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント リズムトレーニング コンビネーション	
9 ダンス実技	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント リズムトレーニング コンビネーション	
10 ダンス実技	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント リズムトレーニング コンビネーション	
11 ダンス実技	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント リズムトレーニング コンビネーション	
12 ダンス実技	ダンス構成	
13 ダンス実技	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント 柔軟性チェック コンビネーション	
14 前期試験	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント リズムトレーニング コンビネーション	
15 ダンス実技	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント リズムトレーニング	

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
ダンスに必要な体づくり、ストレッチを中心にリズムトレーニング、コンビネーションを学び、ライブでのパフォーマンスに役立てていきます。	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
ダンス基礎、リズムトレーニング、振付	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1 ダンス実技	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント リズムトレーニング コンビネーション
2 ダンス実技	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント 構成付き振付
3 ダンス実技	ストレッチ 筋トレ 振付
4 ダンス実技	ストレッチ 筋トレ 振付
5 ダンス実技	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント リズムトレーニング コンビネーション
6 ダンス実技	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント リズムトレーニング コンビネーション
7 ダンス実技	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント リズムトレーニング コンビネーション
8 ダンス実技	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント リズムトレーニング コンビネーション
9 ダンス実技	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント リズムトレーニング コンビネーション
10 ダンス実技	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント リズムトレーニング コンビネーション
11 ダンス実技	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント リズムトレーニング コンビネーション
12 ダンス実技	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント リズムトレーニング コンビネーション
13 ダンス実技	ストレッチ 筋コンディショニング アライメント リズムトレーニング コンビネーション
14 後期試験	
15 1年間のまとめ	

授業科目		授業時数
ダンス		60
学年	学科	コース
2	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
齋藤 千秋		
前 期		
到達目標		
ダンス実技 リズムトレーニング、コンビネーション		
評価方法		
筆記試験・ <u>実技試験</u> ・実習評価・課題評価・小テスト・ <u>その他</u>		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	授業ガイダンス	授業概要 2年の目標
2	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ ブリエ ターン 振付
3	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ ブリエ ターン 振付
4	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ ブリエ 振付
5	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ アライメント リズムトレーニング コンビネーション
6	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ ブリエ 振付
7	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ ブリエ クロスフロア 振付
8	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ ブリエ クロスフロア 振付
9	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ ブリエ クロスフロア 振付
10	ダンス実技	楽曲を聴いてのイメージトレーニング 空間作り
11	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ ブリエ クロスフロア 振付構成付き
12	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ 夏休み課題
13	ダンス実技	ストレッチ 前期試験振付
14	前期試験	
15	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ ブリエ ジャンプ 振付

授業の方法		
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ <u>実習</u>		
授業概要		
1年時に学んだダンスをもとに、より高度なダンス実技を学びます。 卒業コンサートでのパフォーマンスに役立てます。		
使用教材:		
後 期		
到達目標		
ダンス実技 振付の習得		
評価方法		
筆記試験・ <u>実技試験</u> ・実習評価・課題評価・小テスト・ <u>その他</u>		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ ブリエ 楽曲選曲
2	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ ブリエ クロスフロア
3	ダンス実技	後期ダンス使用曲の振付
4	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ ブリエ クロスフロア 振付
5	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ ブリエ 振付
6	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ ブリエ 振付
7	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ ブリエ 振付
8	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ ブリエ 振付
9	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ ブリエ 振付
10	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ ブリエ 振付
11	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ ブリエ 振付復習
12	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ ブリエ 振付復習
13	ダンス実技	ストレッチ 筋トレ ブリエ 振付復習
14	後期試験	
15	1年間のまとめ	

授業科目		授業時数
セルフプロデュース		120
学年	学科	コース
3	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
杉岡 未央		
前 期		
到達目標		
進路に向けた情報収集、自己PRの作成		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 授業ガイダンス	HR 1年間の流れ	
2 自己プロデュースについて①	SNSを通じた自己プロデュース	
3 自己プロデュースについて②	SNSを通じた自己プロデュース	
4 自己プロデュースについて③	SNSを通じた自己プロデュース	
5 自己プロデュースについて④	SNSを通じた自己プロデュース	
6 自己プロデュースについて⑤	SNSを通じた自己プロデュース	
7 SNSの活用法①	各SNSの知識 フォロワーを増やすための知識	
8 SNSの活用法②	各SNSの知識 フォロワーを増やすための知識	
9 SNSの活用法③	各SNSの知識 フォロワーを増やすための知識	
10 SNSの活用法④	各SNSの知識 フォロワーを増やすための知識	
11 配信実技①	実際に配信を行う	
12 配信実技②	実際に配信を行う	
13 配信実技③	実際に配信を行う	
14 前期試験		
15 前期まとめ		

授業の方法	
講義 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
SNSを通じた自己プロデュースについてを学び、実際に配信や動画投稿を行います。昨今の業界で求められるインフルエンサーとしての知識と技術を磨き、仕事の獲得に繋がられるような人材を育成します。	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
進路決定、卒業に関する各行事の準備	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1 振り返り	前期を鑑みての振り返り 伸ばすべき点と改善点
2 動画研究①	インフルエンサーの活動を分析し、どのように活動すべきかを研究する
3 動画研究②	インフルエンサーの活動を分析し、どのように活動すべきかを研究する
4 動画研究③	インフルエンサーの活動を分析し、どのように活動すべきかを研究する
5 動画制作①	動画の制作
6 動画制作②	動画の制作
7 動画制作③	動画の制作
8 動画制作④	動画の制作
9 配信実技①	実際に配信を行う
10 配信実技②	実際に配信を行う
11 配信実技③	実際に配信を行う
12 配信実技④	実際に配信を行う
13 配信実技⑤	実際に配信を行う
14 後期試験	
15 後期まとめ	

授業科目		授業時数
ネット配信制作		60
学年	学科	コース
3	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
藤原 成史		
前 期		
到達目標		
ネット配信に関する機材の使用方法		
評価方法		
筆記試験・ <u>実技試験</u> ・実習評価・課題評価・小テスト・ <u>その他</u>		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	授業ガイダンス	授業概要説明 自己紹介
2	機材レクチャー①	配信で使用する機材の説明
3	機材レクチャー②	配信で使用する機材の説明
4	機材レクチャー③	配信で使用する機材の説明
5	機材レクチャー④	配信で使用する機材の説明
6	ソフトウェアについて①	編集に使用するソフトのレクチャー
7	ソフトウェアについて②	編集に使用するソフトのレクチャー
8	ソフトウェアについて③	編集に使用するソフトのレクチャー
9	ソフトウェアについて④	編集に使用するソフトのレクチャー
10	ソフトウェアについて⑤	編集に使用するソフトのレクチャー
11	座学①	目を引く編集の仕方など
12	座学②	
13	座学③	
14	前期試験	
15	試験のフィードバック	前期のまとめ 試験の振り返り

授業の方法	
講義 ・ <u>演習</u> ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
セルフプロデュースを行うため、SNSでの配信テクニックや機材の使用 方法を学びます。	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
ネット配信における自己プロデュース方法の習得	
評価方法	
筆記試験・ <u>実技試験</u> ・実習評価・課題評価・小テスト・ <u>その他</u>	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	配信テスト① 機材を用いた配信のテスト
2	配信テスト② 機材を用いた配信のテスト
3	配信テスト③ 機材を用いた配信のテスト
4	配信実践 配信
5	配信実践 配信
6	配信実践 配信
7	配信実践 配信
8	配信実践 配信
9	配信実践 配信
10	配信実践 配信
11	配信実践 配信
12	配信実践 配信
13	配信実践 配信
14	後期試験
15	後期まとめ 1年間のまとめ 試験の振り返り

授業科目		授業時数
アナウンス		120
学年	学科	コース
1	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
浅野 陽子		
前 期		
到達目標		
アナウンスの基礎、リーディングライブ制作		
評価方法		
筆記試験・ <u>実技試験</u> ・実習評価・課題評価・小テスト・ <u>その他</u>		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	授業ガイダンス	授業概要の説明 自己紹介
2	自己PR文章	自分を客観的に見た自己PR文章の作成、読み
3	アナウンス基礎	ニュース原稿
4	アナウンス基礎	ニュース原稿 天気予報
5	リーディングライブに向けた準備	演目台本の指導
6	リーディングライブに向けた準備	演目台本の指導
7	リーディングライブに向けた準備	演目台本の指導
8	リーディングライブに向けた準備	演目台本の指導
9	リーディングライブに向けた準備	場当たり、立ち位置、動きの確認 VTR収録
10	リーディングライブに向けた準備	場当たり、立ち位置、動きの確認 VTR収録
11	リーディングライブに向けた準備	全体練習
12	リーディングライブに向けた準備	全体練習
13	リーディングライブに向けた準備	全体練習
14	前期試験	
15	前期まとめ	リーディングライブ本番振り返り

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ <u>実習</u>	
授業概要	
ニュース原稿や朗読作品などを中心にナレーション、アナウンスの基礎を学びます。学内行事である『リーディングライブ』では舞台での朗読劇を行います。 また、話しことばとコミュニケーション検定取得に向けた対策授業も行います。	
使用教材:話しことばコミュニケーションテキスト、新明解日本語アクセント辞典等	
後 期	
到達目標	
話しことばとコミュニケーション検定の合格	
評価方法	
筆記試験・ <u>実技試験</u> ・実習評価・課題評価・小テスト・ <u>その他</u>	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	台本を使用したナレーション 朗読作品
2	台本を使用したナレーション 朗読作品
3	台本を使用したナレーション 朗読作品
4	台本を使用したナレーション 朗読作品
5	台本を使用したナレーション 話しことば検定対策 朗読作品 話しことば検定対策授業
6	台本を使用したナレーション 話しことば検定対策 ナレーション原稿 話しことば検定対策授業
7	台本を使用したナレーション 話しことば検定対策 ナレーション原稿 話しことば検定対策授業
8	台本を使用したナレーション 話しことば検定対策 ナレーション原稿 話しことば検定対策授業
9	台本を使用したナレーション 話しことば検定対策 ナレーション原稿 話しことば検定対策授業
10	台本を使用したナレーション 話しことば検定対策 朗読作品 話しことば検定対策授業
11	台本を使用したナレーション 話しことば検定対策 朗読作品 話しことば検定対策授業
12	台本を使用したナレーション 話しことば検定対策 朗読作品 話しことば検定対策授業
13	台本を使用したナレーション 話しことば検定対策 朗読作品 話しことば検定対策授業
14	後期試験
15	1年間のまとめ 1年間のまとめ

授業科目		授業時数
アナウンス		120
学年	学科	コース
2	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
辻井 利恵		
前 期		
到達目標		
滑舌のトレーニング、アナウンス技術の習得		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 授業ガイダンス	オリエンテーション 自己紹介 / 他己紹介	
2 滑舌トレーニング① アナウンス表現①	アクセント記号練習① 音声表現 フリートーク	
3 滑舌トレーニング② アナウンス表現②	アクセント記号練習② 時事ニュース インフォメーション	
4 滑舌トレーニング③ アナウンス表現③	アクセント記号練習③ ニュース原稿	
5 滑舌トレーニング④ アナウンス表現④	アクセント記号練習④ めぐり原稿の読み	
6 滑舌トレーニング⑤ アナウンス表現⑤	スピーチ作文の作成 販売促進原稿の読み	
7 滑舌トレーニング⑥ アナウンス表現⑥	ニュース原稿(VTR収録)	
8 滑舌トレーニング⑦ アナウンス表現⑦	ニュース原稿(VTRプレイバック)	
9 滑舌トレーニング⑧ アナウンス表現⑧	ニュース原稿 交通情報アナウンス	
10 滑舌トレーニング⑨ アナウンス表現⑨	ニュース原稿 交通情報アナウンス	
11 滑舌の強化① アナウンス表現⑩	スピーチ	
12 滑舌の強化② アナウンス表現⑪	スピーチ	
13 滑舌の強化③ アナウンス表現⑫	スピーチ	
14 前期試験		
15 校内オーディション対策	校内オーディションで使用する台本指導	

授業の方法		
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習		
授業概要		
1年で学んだことを基礎に、伝えるためのアナウンス、表現豊かなナレーションなど、台本、原稿を使用し、アナウンス、ナレーションの技術を学びます。		
使用教材:声優教本(オリジナルテキスト)、新明解日本語アクセント辞典等		
後 期		
到達目標		
滑舌の強化、ナレーション・アナウンス技術の習得		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
2 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
3 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
4 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
5 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
6 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
7 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
8 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
9 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
10 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
11 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
12 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
13 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
14 後期試験		
15 1年間のまとめ	1年間のまとめ	

授業科目		授業時数
アナウンス		120
学年	学科	コース
3	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
辻井 利恵		
前 期		
到達目標		
滑舌のトレーニング、アナウンス技術の習得		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 授業ガイダンス	オリエンテーション 自己紹介 / 他己紹介	
2 滑舌トレーニング① アナウンス表現①	アクセント記号練習① 音声表現 フリートーク	
3 滑舌トレーニング② アナウンス表現②	アクセント記号練習② 時事ニュース インフォメーション	
4 滑舌トレーニング③ アナウンス表現③	アクセント記号練習③ ニュース原稿	
5 滑舌トレーニング④ アナウンス表現④	アクセント記号練習④ めぐり原稿の読み	
6 滑舌トレーニング⑤ アナウンス表現⑤	スピーチ作文の作成 販売促進原稿の読み	
7 滑舌トレーニング⑥ アナウンス表現⑥	ニュース原稿(VTR収録)	
8 滑舌トレーニング⑦ アナウンス表現⑦	ニュース原稿(VTRプレイバック)	
9 滑舌トレーニング⑧ アナウンス表現⑧	ニュース原稿 交通情報アナウンス	
10 滑舌トレーニング⑨ アナウンス表現⑨	ニュース原稿 交通情報アナウンス	
11 滑舌の強化① アナウンス表現⑩	スピーチ	
12 滑舌の強化② アナウンス表現⑪	スピーチ	
13 滑舌の強化③ アナウンス表現⑫	スピーチ	
14 前期試験		
15 校内オーディション対策	校内オーディションで使用する台本指導	

授業の方法		
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習		
授業概要		
2年次に引き続き、伝えるためのアナウンス、表現豊かなナレーションなど、台本、原稿を使用し、アナウンス、ナレーションの技術を学びます。		
使用教材:声優教本(オリジナルテキスト)、新明解日本語アクセント辞典等		
後 期		
到達目標		
滑舌の強化、ナレーション・アナウンス技術の習得		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
2 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
3 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
4 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
5 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
6 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
7 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
8 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
9 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
10 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
11 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
12 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
13 長滑舌 アナウンス技術 ナレーション技術	発声 / 滑舌のトレーニング 原稿を使用したアナウンス/ナレーション技術	
14 後期試験		
15 1年間のまとめ	1年間のまとめ	

授業科目		授業時数
ボイスコントロール		120
学年	学科	コース
1	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
杉岡 未央 (声のプロダクション キャラ所属 テレビ、ラジオのキャラクターボイス、CM、ナレーションまで幅広く活躍中)		
前 期		
到達目標		
自身の声を知る、ボイスサンプル制作		
評価方法		
筆記試験・ <u>実技試験</u> ・実習評価・課題評価・小テスト・ <u>その他</u>		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	授業概要オリエンテーション 自己紹介 収録に関する諸注意	
2	ゲーム形式の実習 ボードゲーム「ヒットマンガ」を用いた実習	
3	距離感、間、抑揚 スタジオ実習	
4	ゲーム形式の実習 ボードゲーム「はあっていうゲーム」を用いた実習	
5	原稿作成 自身で原稿を作成、実演	
6	抑揚、高低、呼吸① スタジオ実習	
7	抑揚、高低、呼吸② プレイバック&フィードバック	
8	フリートーク① 自己紹介フリートーク	
9	フリートーク② ボイスサンプルについて 自己紹介フリートーク ボイスサンプル制作に向けた説明	
10	ボイスサンプル制作① 台本についてのアドバイス 練習 & フィードバック	
11	ボイスサンプル制作② 録音	
12	ボイスサンプル制作③ 録音	
13	ボイスサンプル制作④ 完成品のプレイバック 自身の声について分析	
14	前期試験	
15	前期まとめ 前期のまとめ	

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ <u>実習</u>	
授業概要	
スタジオでのマナーやルール、機材の知識を学びます。前期は録音～プレイバックで自分の声を知ること。マイクに声をのせることを実際に聴きながら学んでいきます。後期はアニメーションのアフレコ収録をメインに行います。	
使用教材: 声優教本、新明解日本語アクセント辞典等	
後 期	
到達目標	
ラジオドラマ制作、アフレコ収録	
評価方法	
筆記試験・ <u>実技試験</u> ・実習評価・課題評価・小テスト・ <u>その他</u>	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	ラジオドラマ制作① 台本制作、キャスト決め
2	ラジオドラマ制作② チームに分かれての練習
3	ラジオドラマ制作③ チームに分かれての練習
4	ラジオドラマ制作④ 録音
5	ラジオドラマ制作⑤ プレイバック
6	アフレコ(アニメーション)① 短めのアニメ作品を使用したアフレコ
7	アフレコ(アニメーション)② 短めのアニメ作品を使用したアフレコ
8	アフレコ(アニメーション)③ 短めのアニメ作品を使用したアフレコ
9	アフレコ(アニメーション)④ 短めのアニメ作品を使用したアフレコ
10	アフレコ(アニメーション)⑤ 短めのアニメ作品を使用したアフレコ
11	模擬オーディション対策 模擬オーディションで使用する台本指導
12	模擬オーディション対策 模擬オーディションで使用する台本指導
13	模擬オーディション対策 模擬オーディションで使用する台本指導
14	後期試験
15	後期まとめ 後期のまとめ

授業科目		授業時数
ボイスコントロール		120
学年	学科	コース
2	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
新見 典子		
前 期		
到達目標		
マイク前でのテクニックの習得		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	授業概要オリエンテーション	自己紹介 プロフィール作成
2	収録実習①	収録 初見原稿読み
3	収録実習②	収録 フリートーク
4	収録実習③	収録 初見原稿読み
5	収録実習④	収録 初見原稿読み
6	収録実習⑤	収録 アナウンス原稿
7	収録実習⑥	収録 アナウンス原稿
8	収録実習⑦	収録 朗読原稿
9	収録実習⑧	収録 朗読原稿
10	収録実習⑨	収録 番組ナレーション
11	収録実習⑩	収録 番組ナレーション
12	収録実習⑪	収録 番組ナレーション
13	収録実習⑫	収録 番組ナレーション
14	前期試験	
15	前期まとめ	前期のまとめ

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
1年次に引き続き、マイクに声をのせ、収録とプレイバックを繰り返すことで自身の声の特徴を理解していきます。実際に映像を流し、番組ナレーションの練習にも取り組みます。	
使用教材:声優教本、新明解日本語アクセント辞典等	
後 期	
到達目標	
映像に合わせたナレーション技術の習得	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	授業ガイダンス 後期の授業内容について フリートーク
2	初見原稿 初見原稿読み
3	番組ナレーション① バラエティ番組のナレーション
4	番組ナレーション② バラエティ番組のナレーション
5	番組ナレーション③ ドキュメンタリー番組のナレーション
6	番組ナレーション④ ドキュメンタリー番組のナレーション
7	番組ナレーション⑤ ニュース番組のナレーション
8	番組のナレーション ニュース番組のナレーション
9	調整日 収録の押し巻きがあった場合調整
10	ボイスサンプル作成① 内容チェック、組み立てについて
11	ボイスサンプル作成② 収録
12	ボイスサンプル作成③ 収録
13	ボイスサンプル作成④ 収録
14	後期試験
15	後期まとめ 後期のまとめ

授業科目		授業時数
アクション		120
学年	学科	コース
3	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
國藤 剛志		
前 期		
到達目標		
アニカレ祭でのアクション劇の制作		
評価方法		
筆記試験・ <u>実技試験</u> ・ <u>実習評価</u> ・課題評価・小テスト・ <u>その他</u>		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 授業ガイダンス	アクション基礎 基礎体力チェック	
2 アクション基礎 芝居との共有	基本型 殺陣	
3 アクション基礎 芝居との共有	基本型 殺陣	
4 アニカレ祭に向けての準備	作品プレゼンテーション	
5 アニカレ祭に向けての演目 制作	全体イメージの共有 キャストオーディション	
6 アニカレ祭に向けての演目 制作	読み合わせ キャスト発表	
7 アニカレ祭に向けての演目 制作	読み合わせ 立ち稽古	
8 アニカレ祭に向けての演目 制作	立ち稽古 殺陣付け	
9 アニカレ祭に向けての演目 制作	立ち稽古 殺陣付け	
10 アニカレ祭に向けての演目 制作	立ち稽古 殺陣付け 芝居演出	
11 アニカレ祭に向けての演目 制作	立ち稽古 殺陣付け 芝居演出	
12 アニカレ祭に向けての演目 制作	殺陣付け(all up) 通し稽古	
13 アニカレ祭に向けての演目 制作	殺陣付け(all up) 通し稽古	
14 前期試験		
15 前期まとめ	前期のまとめ	

授業の方法	
講義 ・ <u>演習</u> ・ 実験 ・ <u>実技</u> ・ 実習	
授業概要	
アニカレ祭でのアクション劇の制作や、外部施設で披露するヒーローショーの制作、卒業公演での殺陣シーンなど、1年時で学んだアクション基礎をもとに、舞台上魅せるアクションを学びます。	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
ヒーローショーの制作	
評価方法	
筆記試験・ <u>実技試験</u> ・ <u>実習評価</u> ・課題評価・小テスト・ <u>その他</u>	
授業計画	
授業項目	実施内容
1 オリエンテーション	各自の能力チェック
2 アクション基礎	体力作り
3 アクション基礎	殺陣、現代アクション
4 アクション基礎	殺陣、現代アクション
5 アクション基礎 芝居との共有	芝居を交えた殺陣
6 アクション基礎 芝居との共有	芝居を交えた殺陣
7 アクション基礎 芝居との共有	芝居を交えた殺陣
8 卒業公演に向けての準備	卒業公演での殺陣付け
9 卒業公演に向けての準備	卒業公演での殺陣付け
10 卒業公演に向けての準備	卒業公演での殺陣シーン指導
11 卒業公演に向けての準備	卒業公演での殺陣シーン指導
12 卒業公演に向けての準備	卒業公演での殺陣シーン指導
13 卒業公演に向けての準備	卒業公演での殺陣シーン指導
14 後期試験	
15 1年間のまとめ	1年間のまとめ

授業科目		授業時数
演技		120
学年	学科	コース
1	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
原 敏一 (舞台作品、テレビドラマ、映画など多数の作品に俳優として出演)		
前 期		
到達目標		
発声、身体表現の基礎		
評価方法		
筆記試験・ <u>実技試験</u> ・実習評価・課題評価・小テスト・ <u>その他</u>		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	授業ガイダンス 授業概要の説明 自己紹介	
2	演技基礎① 身体表現の基礎①	
3	演技基礎② 身体表現の基礎②	
4	演技基礎③ 身体表現の基礎③	
5	演技基礎④ 身体表現の基礎④	
6	演技基礎⑤ 身体表現の基礎⑤	
7	演技基礎⑥ 身体表現の基礎⑥	
8	演技基礎⑦ 身体表現の基礎⑦	
9	演技基礎⑧ 身体表現の基礎⑧	
10	演技基礎⑨ 身体表現の基礎⑨	
11	演技基礎⑩ 身体表現の基礎⑩	
12	演技基礎⑪ 身体表現の基礎⑪	
13	演技基礎⑫ 身体表現の基礎⑫	
14	前期試験	
15	前期まとめ	

授業の方法	
講義 ・ <u>演習</u> ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
演技における体づくり、身体表現などの基礎を学び、台本を使用した演技で表現の仕方を基礎から学びます。また、授業の集大成として『春の演劇発表会』を開催し、芝居の制作工程を学びます。	
使用教材:声優教本(オリジナルテキスト)	
後 期	
到達目標	
演劇発表会の制作	
評価方法	
筆記試験・ <u>実技試験</u> ・実習評価・課題評価・小テスト・ <u>その他</u>	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	基礎訓練 演技基礎
2	基礎訓練 演技基礎
3	基礎訓練 演技基礎
4	基礎訓練 演技基礎
5	基礎訓練 演技基礎
6	基礎訓練 春の演劇発表会に向けた準備
7	基礎訓練 春の演劇発表会に向けた準備
8	基礎訓練 春の演劇発表会に向けた準備
9	基礎訓練 春の演劇発表会に向けた準備
10	基礎訓練 春の演劇発表会に向けた準備
11	模擬オーディション対策
12	模擬オーディション対策
13	模擬オーディション対策
14	基礎訓練 春の演劇発表会に向けた準備
15	基礎訓練 春の演劇発表会に向けた準備

授業科目		授業時数
演技		120
学年	学科	コース
2	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
原 敏一 (舞台作品、テレビドラマ、映画など多数の作品に俳優として出演)		
前 期		
到達目標		
発声、身体表現の基礎		
評価方法		
筆記試験・ 実技試験 ・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	授業ガイダンス 授業概要の説明	
2	演技応用① 身体表現の応用①	
3	演技応用② 身体表現の応用②	
4	演技応用③ 身体表現の応用③	
5	演技応用④ 身体表現の応用④	
6	演技応用⑤ 身体表現の応用⑤	
7	演技応用⑥ 身体表現の応用⑥	
8	演技応用⑦ 身体表現の応用⑦	
9	演技応用⑧ 身体表現の応用⑧	
10	演技応用⑨ 身体表現の応用⑨	
11	演技応用⑩ 身体表現の応用⑩	
12	演技応用② 身体表現の応用②	
13	演技応用⑪ 身体表現の応用⑪	
14	前期試験	
15	前期まとめ	

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
1年次に引き続き、演技における体づくり、身体表現などの基礎を学び、台本を使用した演技で表現の仕方を基礎から学びます。また、授業の集大成として『春の演劇発表会』を開催し、芝居の制作工程を学びます。	
使用教材:声優教本(オリジナルテキスト)	
後 期	
到達目標	
演劇発表会の制作	
評価方法	
筆記試験・ 実技試験 ・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	演技指導 ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 台本を使用した演技指導
2	演技指導 ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 台本を使用した演技指導
3	演技指導 ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 台本を使用した演技指導
4	演技指導 ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 台本を使用した演技指導
5	演技指導 ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 台本を使用した演技指導
6	演技指導 春の演劇発表会に向けた準備 演劇発表会台本を使用した演技指導
7	演技指導 春の演劇発表会に向けた準備 演劇発表会台本を使用した演技指導
8	演技指導 春の演劇発表会に向けた準備 演劇発表会台本を使用した演技指導
9	演技指導 春の演劇発表会に向けた準備 演劇発表会台本を使用した演技指導
10	演技指導 春の演劇発表会に向けた準備 演劇発表会台本を使用した演技指導
11	模擬オーディション対策 後期模擬オーディションで使用する台本指導
12	模擬オーディション対策 後期模擬オーディションで使用する台本指導
13	模擬オーディション対策 後期模擬オーディションで使用する台本指導
14	演技指導 春の演劇発表会に向けた準備 演劇発表会台本を使用した演技指導
15	演技指導 春の演劇発表会に向けた準備 演劇発表会台本を使用した演技指導

授業科目		授業時数
舞台制作		120
学年	学科	コース
3	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
原 敏一 (舞台作品、テレビドラマ、映画など多数の作品に俳優として出演)		
前 期		
到達目標		
夏の発表会制作		
評価方法		
筆記試験・ <u>実技試験</u> ・ <u>実習評価</u> ・課題評価・小テスト・ <u>その他</u>		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 授業ガイダンス 基礎訓練① エチュード① 台本を使用した演技指導①	授業概要の説明 ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 身体表現 台本読み合わせ	
2 基礎訓練② エチュード② 台本を使用した演技指導②	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 身体表現 台本読み合わせ	
3 基礎訓練③ 台本を使用した演技指導③	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 台本読み合わせ	
4 基礎訓練④ 台本を使用した演技指導④	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 台本読み合わせ / 立ち稽古	
5 基礎訓練⑤ 台本を使用した演技指導⑤	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 立ち稽古	
6 基礎訓練⑥ 台本を使用した演技指導⑥	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 立ち稽古	
7 基礎訓練⑦ 夏の発表会に向けた準備①	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 立ち稽古	
8 基礎訓練⑧ 夏の発表会に向けた準備②	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 立ち稽古	
9 基礎訓練⑨ 夏の発表会に向けた準備③	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 立ち稽古	
10 基礎訓練⑩ 夏の発表会に向けた準備④	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 立ち稽古	
11 基礎訓練⑪ 夏の発表会に向けた準備⑤	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 立ち稽古	
12 夏の発表会 本番	夏の授業内発表会 本番	
13 夏の発表会 試写	夏の発表会の振り返り 反省	
14 校内オーディション対策	校内オーディションで使用する台本の指導	
15 校内オーディション対策	校内オーディションで使用する台本の指導	

授業の方法	
講義 ・ <u>演習</u> ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
前期は夏の発表会、後期は卒業公演といった、発表する芝居の制作を中心に行います。キャスト決定や衣装、道具の準備といった制作や、公演フライヤーなど集客に関する準備も行い、1つの作品をクラスで作ってあげていく工程を学びます。	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
卒業公演制作	
評価方法	
筆記試験・ <u>実技試験</u> ・ <u>実習評価</u> ・課題評価・小テスト・ <u>その他</u>	
授業計画	
授業項目	実施内容
1 基礎訓練 台本を使用した演技指導	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 立ち稽古
2 基礎訓練 台本を使用した演技指導	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 立ち稽古
3 基礎訓練 台本を使用した演技指導	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 立ち稽古
4 基礎訓練 台本を使用した演技指導	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 立ち稽古
5 基礎訓練 台本を使用した演技指導	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 立ち稽古
6 基礎訓練 台本を使用した演技指導	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 立ち稽古
7 基礎訓練 卒業公演に向けた準備	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 卒業公演に向けた演技指導
8 基礎訓練 卒業公演に向けた準備	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 卒業公演に向けた演技指導
9 基礎訓練 卒業公演に向けた準備	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 卒業公演に向けた演技指導
10 基礎訓練 卒業公演に向けた準備	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 卒業公演に向けた演技指導
11 基礎訓練 卒業公演に向けた準備	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 卒業公演に向けた演技指導
12 基礎訓練 卒業公演に向けた準備	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 卒業公演に向けた演技指導
13 基礎訓練 卒業公演に向けた準備	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 卒業公演に向けた演技指導
14 基礎訓練 卒業公演に向けた準備	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 卒業公演に向けた演技指導
15 基礎訓練 卒業公演に向けた準備	ストレッチ / 筋力トレーニング / 発声 卒業公演に向けた演技指導

授業科目		授業時数
アフレコ		120
学年	学科	コース
2	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
浜本 直子 (ラジオドラマ、舞台、テレビ、映像作品など多数の作品に出演)		
前 期		
到達目標		
アフレコ工程における知識、技術の習得		
評価方法		
筆記試験・ <u>実技試験</u> ・実習評価・課題評価・小テスト・ <u>その他</u>		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	授業ガイダンス	授業概要の説明 自己紹介、マイクの使い方・性能について
2	短いナレーションとCM①	座った形でのナレーション、CM読みの指導 カフボックスの取り扱い
3	短いナレーションとCM②	立った形でのナレーション、CM読みの指導
4	アニメーションのアフレコ①	アニメーションを題材としたアフレコ指導
5	アニメーションのアフレコ②	アニメーションを題材としたアフレコ指導
6	アニメーションのアフレコ③	アニメーションを題材としたアフレコ指導 (クラス内での優秀キャストを選出)
7	アニメーションのアフレコ④	アニメーションを題材としたアフレコ指導 (クラス内での優秀キャストを選出)
8	アニメーションのアフレコ⑤	アニメーションを題材としたアフレコ指導
9	アニメーションのアフレコ⑥	アニメーションを題材としたアフレコ指導、感情表現
10	オーディション対策	校内オーディションで使用する台詞の指導
11	オーディション対策	校内オーディションで使用する台詞の指導
12	オーディション対策	校内オーディションで使用する台詞の指導
13	オーディション対策	校内オーディションで使用する台詞の指導
14	前期試験	
15	前期まとめ	作品プレイバック

授業の方法	
講義 ・ <u>演習</u> ・ 実験 ・ 実技 ・ <u>実習</u>	
授業概要	
アニメーションのアフレコ、外画吹き替えを中心に、マイクワークや演技、表現などアフレコ工程全般を学びます。	
使用教材:新明解日本語アクセント辞典等	
後 期	
到達目標	
アフレコ工程における知識、技術の習得	
評価方法	
筆記試験・ <u>実技試験</u> ・実習評価・課題評価・小テスト・ <u>その他</u>	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	ボイスドラマ制作① ボイスドラマ台本の収録
2	ボイスドラマ制作② ボイスドラマ台本の収録
3	外画吹き替えの収録① 外画を題材とした吹き替え収録の指導
4	外画吹き替えの収録① 外画を題材とした吹き替え収録の指導
5	外画吹き替えの収録② 外画を題材とした吹き替え収録の指導
6	外画吹き替えの収録② 外画を題材とした吹き替え収録の指導
7	外画吹き替えの収録③ 外画を題材とした吹き替え収録の指導
8	外画吹き替えの収録③ 外画を題材とした吹き替え収録の指導
9	アニメーション / 外画 短いシーンを題材とした収録① アニメーション / 外画 収録の指導
10	アニメーション / 外画 短いシーンを題材とした収録② アニメーション / 外画 収録の指導
11	後期試験作品の準備① 台本配布 キャスティング
12	後期試験作品の準備② 練習、マイク前でのリハーサル
13	後期試験作品の準備③ 練習、マイク前でのリハーサル
14	後期試験 後期試験作品のアフレコ収録
15	後期試験作品の振り返り 後期試験作品の振り返り、アドバイス 1年間の振り返り

授業科目		授業時数
アフレコ		120
学年	学科	コース
3	総合学科	総合声優コース
担当講師(プロフィール)		
平野 舞 (声のプロダクション キャラ所属 テレビ、ラジオのキャラクターボイス、CM、ナレーションから芝居まで幅広く活躍中)		
前 期		
到達目標		
アニメーション、外画吹き替えのアフレコ収録		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	授業ガイダンス	自己紹介 授業での諸注意
2	アニメーションを題材としたアフレコ	各グループでのアフレコ収録～プレイバック
3	アニメーションを題材としたアフレコ	各グループでのアフレコ収録～プレイバック
4	アニメーションを題材としたアフレコ	各グループでのアフレコ収録～プレイバック
5	アニメーションを題材としたアフレコ	各グループでのアフレコ収録～プレイバック
6	アニメーションを題材としたアフレコ	各グループでのアフレコ収録～プレイバック
7	外画を題材とした吹き替え	各グループでの吹き替え収録～プレイバック
8	外画を題材とした吹き替え	各グループでの吹き替え収録～プレイバック
9	外画を題材とした吹き替え	各グループでの吹き替え収録～プレイバック
10	外画を題材とした吹き替え	各グループでの吹き替え収録～プレイバック
11	アニメーションを題材としたアフレコ	各グループでのアフレコ収録～プレイバック
12	校内オーディション対策①	校内オーディションで使用するアフレコ台本の指導
13	校内オーディション対策②	校内オーディションで使用するアフレコ台本の指導
14	前期試験	
15	前期まとめ	前期のまとめ

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
アニメーション作品、洋画の吹き替えなど、声優としてのアフレコ収録を実践的に行い、作品クオリティにこだわった表現、技術を学びます。卒業制作としてグループでアニメーションのアフレコを行い、DVDに収録します。	
使用教材:新明解日本語アクセント辞典等	
後 期	
到達目標	
卒業制作収録	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	アニメーションを題材としたアフレコ 各グループでのアフレコ収録～プレイバック
2	アニメーションを題材としたアフレコ 各グループでのアフレコ収録～プレイバック
3	外画を題材とした吹き替え 各グループでの吹き替え収録～プレイバック
4	外画を題材とした吹き替え 各グループでの吹き替え収録～プレイバック
5	卒業制作作品収録 作品の選定
6	卒業制作作品収録 各グループごとの練習
7	卒業制作作品収録 各グループごとの練習
8	卒業制作作品収録 各グループごとの本番収録
9	卒業制作作品収録 各グループごとの本番収録
10	卒業制作作品試写会 卒業制作作品の試写会 グループごとの感想
11	アニメーションを題材としたアフレコ 各グループでのアフレコ収録～プレイバック
12	アニメーションを題材としたアフレコ 各グループでのアフレコ収録～プレイバック
13	外画を題材とした吹き替え 各グループでの吹き替え収録～プレイバック
14	外画を題材とした吹き替え 各グループでの吹き替え収録～プレイバック
15	後期まとめ 後期のまとめ